

駒澤大学教育後援会

〔特別企画〕新入生スケッチブックひとことメッセージ

サークル紹介 卓球部・折り紙サークル「折旆」

学部・学科紹介 文学部国文学科

会報

Newsletter

2026

vol.195



定期総会（駒沢キャンパス構内見学会・坐禅体験）

CONTENTS

◆ 巻頭挨拶	村松 哲文(駒澤大学 学長)	4
	福島 誠(駒澤大学教育後援会 会長)	5
特集1 サークル紹介		
『卓球部』	管 琉乃介(主将)／鳥山 梓希(マネージャー)／坂田 陽哉(選手)	6
	「取材を終えて」 教育後援会文化部取材班	7
『折り紙サークル「折紙」』	小林 未侑(代表)／中山 幸弘(副代表)／岩城 優月(会計)	8
	「取材を終えて」 教育後援会文化部取材班	9
特別企画 新入生 スケッチブックひとことメッセージ		10
◆ 学生表彰		14
		15
◆ サークル活動奨励金 受給サークルの活動紹介		16
		17
特集2 学部・学科紹介		
『文学部・国文学科』		
『学科主任挨拶』	倉田 容子(国文学科主任・教授)	18
『学生たちの声』	古宮 朋樹／室久保 有紗／金子 愛実	19
『駒大教員探訪』	仲谷 健太郎(国文学科・准教授)	20
	松井 健児(国文学科・教授)	21
『このゼミに注目！』	加藤 邦彦(国文学科・教授)	22
	櫻井 陽子(国文学科・教授)	23
特別企画 第28回 地方で活躍する駒大卒業生の皆さん		24
	山口 良樹(仏教学部 仏教学科卒業)	25

駒澤大学教育後援会とは

教育後援会は、駒澤大学・大学院に在学する学生のご父母（保証人）を会員として構成されています。

大学と家庭との連絡を図り、教育的効果の向上に資するとともに、会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的としております。

本文中の
表記について

GMS学部GM学科：
グローバル・メディア・スタディーズ学部グローバル・メディア学科

特集3 気になる！就職活動

キャリアセンターから	26
「就活体験記」 藤井 祥乃（経済学部 商学科卒業）／中村 玲音（法学部 政治学科卒業）	28
キャリア・就職支援スケジュール	29

◆教育後援会だより

教育後援会の活動紹介	30
2026年度 教育後援会執行部・監査紹介	32
駒澤大学役職者紹介	33

特集4 定期総会報告

「教育後援会 定期総会報告」 北川 達也（総務部 部長）	34
2026年度 教育後援会委員名簿 及び 教育後援会組織図	35
2025年度 教育後援会収支決算報告書・積立金明細書	36
2026年度 教育後援会予算書・特別会計予算書	37

◆駒澤大学教育後援会 規程

教育後援会 会則	38
ホームページのご案内	39

◆大学だより

令和8年度 後期学費等納入のお知らせ 財務部学費係	40
卒業アルバムのご案内 学生支援センター学生係	40
奨学金について 学生支援センター厚生課	41
禅文化歴史博物館からのお知らせ	42

◆駒澤大学 サービスのご案内 KUサポート

◆一泊参禅研修会（大本山總持寺）募集要項

◆会員アンケート用紙

◆オースタムフェスティバル2026開催予定／編集後記

47

45

44

43

42

41

40

40

39

38

39

37

36

35

34

33

32

30

31

29

28

26

27



駒澤大学
学 長

村松 哲文

駒澤大学の未来を拓く

——「愛される大学」を目指して——

教育後援会の皆様には、平素より本学の教育活動に対し多大なるご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

この一年、私は様々な機会を通じて教育後援会の皆様とお会いする機会に恵まれました。皆様とお話する中で何よりも強く感じましたのは、お子様に対する深く温かな愛情であり、そして本学に対する厚い信頼と親愛の念です。大学を支えるパートナーとして、皆様が寄せてくださるその熱意に、私は深く敬服するとともに、身の引き締まる思いであります。

直面する18歳人口の激減

しかし、目を外に転じれば、我々を取り巻く環境はかつてない荒波の中にあります。周知の通り、日本の高等教育は、少子化に伴う「18歳人口の激減」という、大学の存続そのものを揺るがす危機的状況に直面しています。文部科学省等の統計によれば、18歳人口は第2次ベビーブーム世代の進学期にあたる1992年の約205万人をピークに減少を続け、近年では約110万人を下回る水準となっています。

さらに、2030年代には100万人を割り込むことが確実視されています。一方で、大学進学率は約57%（専門学校等を含めると約80%超）と高止まりしており、進学率の上昇による市場補完が限界に達しているのが現状です。

このような状況下で、大学が淘汰される時代はもはや仮定の話ではなく、現実の脅威として目の前に迫っています。

「愛される大学」へ

この危機を乗り越え、駒澤大学を未来永劫に存続させ、さらなる発展を遂げさせるためには、今、具体的な対策を立てなければなりません。その根幹となる私たちの大きな目標は、駒澤大学を「みんなから愛される大学」へと深化させることです。

何よりもまず、すべての学生が「駒澤大学で学べて本当に幸せだった」と心から実感できる教育環境を構築します。個々の可能性を最大限に引き出し、社会へ飛躍する力を育む場所であり続けます。教職員が丸となり、学生の支援に臨んでいます。

次世代を担う学生を支える教職員自身が、誇りと働きがい、そして情熱を持って教育・研究・業務に邁進できる組織でなければなりません。そのためには、一人ひとりが現状を認識し、自分が何をすべきかを自覚して、全員が同じ方向を向かなければいけません。そのための雰囲気作りも重要であると考えています。

大学は閉ざされた象牙の塔であってはなりません。地域社会から親しまれ、「この地に駒澤大学があつて本当に良かった」と思われる存在、すなわち、社会に深く根差し、知の拠点として貢献する「開かれた大学」であることを目指します。

私たちは今、歴史の転換点に立っています。伝統を重んじつつも、時代の変化を恐れず改革を進めてまいります。保護者の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援と、本学への忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

お子様の輝かしい未来と、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年度のご挨拶とさせていただきます。



駒澤大学
教育後援会 会長
福島 誠

他にない支えのかたちを、これからも

——歴史と伝統に培われた、

駒澤大学教育後援会の使命——

会員の皆様におかれましては、日頃より駒澤大学教育後援会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、令和8年度駒澤大学教育後援会会長を拝命いたしました福島誠と申します。歴史と伝統ある本会の会長という大任を仰せつかり、その責任の重さに身の引き締まる思いでございます。先達の皆様が築いてこられた歩みに敬意を表するとともに、会員の皆様のお力添えを賜りながら、誠心誠意務めてまいります所存です。

まずは、新入生のご家族の皆様、ご入学誠におめでとうございます。新たな環境のもとで始まる学生生活が、実り多く、かけがえのない時間となりますことを心よりお祈り申し上げます。

本教育後援会は、昭和34年に「父母の会」として発足して以来、長きにわたり学生と大学を支え続けてまいりました。この積み重ねこそが、現在の教育後援会の礎であり、他大学には見られない独自性と強みを持つ組織として発展してきた所以であります。大学と家庭をつなぐ架け橋として、また保護者同士が支え合うネットワークとして、時代の変化に応じながらもその本質を守り続けてきたことは、誇るべき財産であると感じております。

駒澤大学に在籍する多くの学生が地方から東京近郊へと生活の拠点を移し、学業に励んでおります。慣れない環境での生活には、不安や課題も少なくありません。こうした状況を踏まえ、本会では学生が安心して日々を過ごせるよう、食育支援や生活環境の整備、さらにはサークル活動への支援など、多面的な取り組みを行っております。特に近年は、学生の健康と学修意欲を支える基盤として食事環境の充実を強化しており、今後も継続的に力を入れてまいります。

また、経済的支援の充実も本会の重要な役割の一つであります。奨学金制度や各種助成を通じて、学生一人ひとりが安心して学業に専念できる環境づくりを進めております。経済的な理由によって学びの機会が制限されることのないよう、引き続き支援の充実を図ってまいります。

さらに、教育後援会は単なる支援団体にとどまらず、保護者同士がつながり、大学とともに学生を見守る「身近な存在」でありたいと考えております。全国各地で開催される懇談会や交流行事は、保護者の皆様の声を大学へ直接届ける貴重な機会であるとともに、会員相互の理解と親睦を深める場でもあります。今後もこうした機会を大切にし、より開かれた後援会活動を推進してまいります。

本年も5月から6月にかけて、全国20か所を超える地域において教育懇談会を開催いたします。ぜひご参加いただき、大学のカリキュラムや就職活動の現状に触れていただくとともに、教職員との交流はもとより、同じ地域の保護者同士による情報共有の輪を広げていただければ幸いに存じます。

駒澤大学は、建学の精神として「禅」の教えを掲げております。この精神は、自己と向き合い、他者を思いやる心を育むものであり、現代社会においてこそその価値が一層高まっていると感じております。教育後援会の活動においても、この「禅の心」を大切にしながら、学生一人ひとりの成長を温かく支えてまいりたいと存じます。

学生が自らの可能性を信じ、それぞれの夢に向かって歩みを進めていくためには、大学・家庭・社会が一体となった支えが不可欠です。教育後援会は、その結節点として、これからも大学と保護者をつなぎ、学生を支える役割を果たしてまいりたいと考えております。

結びに、会員の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、学生の健やかな成長と本学のさらなる発展を心より祈念し、就任のご挨拶とさせていただきます。

CIRCLE Pick Up!

サークル紹介

特集
1



卓球部

創立年 1952 年

部員数 24 人 (2026 年 4 月現在)

駒澤大学卓球部は 2026 年度で創部 74 年目を迎える伝統ある部活動です。

現在は選手 21 人、マネージャー 3 人の計 24 人が在籍し、関東学生リーグ 1 部 4 位以上、インカレベスト 4 という目標を掲げています。弊部の最大の特徴は、北は北海道から南は九州まで、全国各地から集まった個性豊かな部員たちが、4 年間の青春を卓球に捧げる「家族」のような絆にあります。選手もマネージャーも一つのチームとして互いを支え合い、切磋琢磨する日々を過ごしています。

また、日頃より「駒澤大学課外活動支援募金」を通じて温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。皆様の応援は、遠征費や練習環境の維持など部員たちの活動の支えとなっており、目標へ向かう大きな原動力です。今後もこの絆を大切に飛躍を目指しますので、引き続きのご支援をお願いいたします。



駒澤大学
課外活動支援募金
(サークル指定)



歴史を塗り替える1年へ

主将
経済学部 経済学科4年
管 琉乃介

主将となり、チーム全体を俯瞰し、調整することを意識しています。新入生を迎え、春季リーグに向けた準備は万全です。今季の強みは昨年を上回る戦力で、特に同期の丹羽（4年）の存在は大きな刺激になっています。駒大の過去最高成績である「1部リーグ3位」の壁を越えることが目標です。個人としても白星を重ね、チームを勝ち越しへと導き、歴史を塗り替える1年にしたいと強く意気込んでいます。

チームを支えることに誇りを

マネージャー
文学部 地理学科3年
鳥山 梓希

選手が安心して競技に打ち込める環境作りと持続を信条としています。日々の練習支援に加え、部員への細やかな声掛けなど心理的サポートも欠かさず、チームの雰囲気を明るく保つよう努めています。また、伝統を次代へ繋ぐため、活動のマニュアル化や後輩への意思伝達を重視し、組織の安定運営に尽力してきました。私自身もマネジメント力を磨きながら、一丸となって戦うチームを支えることに誇りを感じています。

全力で臨む 自身初の1部リーグ参戦

選手
経済学部 商学科2年
坂田 陽哉

駒澤での1年目は、想像以上に充実したものでした。日々の練習を通じて、技術だけでなく「考えてプレーする大切さ」や「継続する力」を学び、成長を実感しています。新入生が加わった今のチームは、互いに切磋琢磨できる非常に良い雰囲気です。今季、自身としては初めての1部リーグ参戦となりますが、自分の実力がどこまで通用するか楽しみです。5月に開幕するリーグ戦では1本（白星）を勝ち取り、チームの勝利に貢献できるよう全力を尽くしたいと思っています。

取材を終えて

体育館の扉をあけると、鋭い打球音と部員たちの活気が飛び出してきました。

皆、一球に対する集中力は凄まじいもので、強豪としての矜持を感じずにはいられません。卓球部が重んじる「規律」の文化も一球を追う姿勢だけではなく、道具の扱いから練習中の立ち振る舞いに至るまで、チームとしての確固たる哲学が浸透していました。

また、彼らを支えるマネージャー陣は選手一人ひとりの状態を細かく確認し、マネージャー同士で連携を取っています。その徹底したコミュニケーションこそが激しい練習を支える土台となっているのではないのでしょうか。試合直前、音楽で精神を研ぎ澄まし、軽快なステップで心拍数を上げて集中力を高めていく選手たち。一球に魂を込める彼らの挑戦をこれからも応援し続けていきたいと思っています。

最後に練習中にも関わらず、快く取材に応じてくださった部員の皆さまに感謝申し上げます。



年間活動予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
関東新人戦	春季関東学生卓球リーグ戦	関東学生選手権	全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部	全日本大学総合卓球選手権大会予選、関東学生チームカップ、夏合宿	秋季関東学生卓球リーグ戦	全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部（全日学）	全日本学生選抜選手権（全日学選抜、会長杯）	東京選手権大会予選	全日本卓球選手権大会	神奈川選手権大会	東京選手権大会、春合宿

CIRCLE Pick Up!



おりせん 折り紙サークル「折旆」

創立年 2022 年

部員数 24 人 (2026 年 4 月現在)

私たち折り紙サークル折旆は 2022 年に設立され、現在男子 6 人、女子 18 人の計 24 人で活動しています。「折旆」という名前は「折り線」と本学の前身「旆檀林」から 1 字ずついただき、このような名前になっております。

主な活動内容としては、オータムフェスティバル用の「巨大折り紙作品制作」や他大学の留学生に折り紙を教える「異文化交流」などがあげられます。折り紙を通して、普段の生活では経験しないようなことを体験できる点はこのサークルならではの醍醐味といえます。私たちのサークルには大会で優勝といった目標はございませんが、学部や学科、学年に関係なく「みんなが楽しく活動ができること」を目標に日々活動しております。

こういった方針のため、初心者から経験者、大学 1 年生から 4 年生まで幅広く大歓迎です。

まずは好奇心から

代表
経済学部 商学科3年
小林 未侑

私は、このサークルの良さとは活動を「それぞれが純粋に楽しんでい
る」ことにあると考えます。サークルメンバーの中には折り紙が得意な
人や不得意な人がいますが、他者と比較することなく各々が「作って
みたい」という好奇心のもと作品制作をしているため初心者から上級者ま
でみんなが楽しく活動することができています。

些細なことではありますが、そういった意識がサークル内で共通して
いることは一つの集団として、とても大切なことだと感じました。

学びを活かし挑戦

副代表
経済学部 経済学科3年
中山 幸弘

このサークルでは、程よく集中して作品制作や仲間との交流を楽しむ
ことができます。また、サークルの備品に折り紙の本があるので、興味
のあるものを探して本を見ながら折ることも可能です。

私は昨年、折り紙で複数のパーツを組み立てる作品を制作しました。
この作品制作はパーツごとのバランスや色合いなどを深く考えるきっか
けとなりました。そこで、昨年の学びを活かしつつ今年は、制作工程が
多く難しい作品に挑戦しようと思っています。

絆と達成感

会計
文学部 歴史学科3年
岩城 優月

このサークルには、中学、高校時代の部活とは異なり、大きな大会で
優勝する等の目標はありませんが、学年問わず、自由に作品制作や談笑
ができる環境となっています。そのため、気軽に活動に参加できます。
さらには、巨大折り紙作品制作などの活動を通して、同じサークル内の
仲間との絆を深めることができます。折り紙自体が心休まる活動の一つ
ではあると思いますが、友人と力を合わせて一つの作品を作るという
活動は普段の生活では得難い達成感を味わうことができると思います。

取材を終えて

オータムフェスで知り合ってから1年越しの願
いが叶って、取材できました。設立は2022年
と新しいですが、作品を見ると、圧倒的な存在感
を感じ、繊細でありながら力強く、生け花にも通
じる伝統美を感じました。

折り紙は、誰もが幼い頃に親しんだ身近な遊び
ですが、大人になると触れる機会が少なくなり
ます。

たくさん娯楽がある今、強い情熱を注いで素敵
な作品を作り続ける姿に感動しました。その理由
を尋ねましたが、言葉だけでは理解しきれませ
んでした。没頭するとは、きっとこういうことな
のでしょう。

取材では、オリジナルの「うさぎ」に挑戦しま
した。ハサミで切ったり、貼り付けたりせずに、
1枚の紙で大きな耳や目を表現するのは、想像以
上に難しく、サークル員の丁寧な助けがあり、よ
うやく完成しました。

ひたむきで親切的な駒大生と触れ合えて、とて
も良かったです。

ありがとうございました。



年間活動予定

3月	12月	10月	8月	7月	6月	5月	4月
送別会	クリスマス会	（異文化交流会）	オープンキャンパス	通常活動	異文化交流会	新入生歓迎会	サークルフェスティバル
	1月～2月 通常活動						

新入生 ひとことメッセージ

スケッチブック

今年度から晴れて駒大生の仲間入りをした新入生に、大学生活の抱負や将来の夢など、それぞれの思いを寄せてもらいました。

☆ 経営学部
経営学科 //



グローバル・メディア・
スタディーズ学部
グローバル・メディア学科 //



グローバル・メディア・
スタディーズ学部
グローバル・メディア学科 //



経営学部
経営学科 //

経営学部
経営学科 //



経営学部
経営学科 //

経営学部
経営学科 //



経営学部
経営学科 //

経営学部
経営学科 //



経済学部
経済学科 //

経済学部
経済学科



経済学部
経済学科

経済学部
現代応用経済学科



経済学部
現代応用経済学科

経済学部
商学科



経済学部
経済学科

経済学部
経済学科

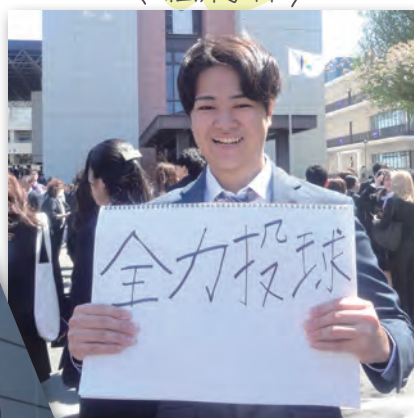
経済学部
経済学科



経済学部
経済学科

経済学部
商学科

経済学部
商学科



仙教学部



仙教学部

仙教学部



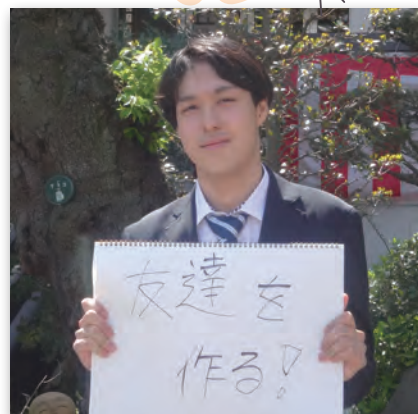
文学部
英米文学科



文学部
英米文学科



医療健康科学部



文学部
英米文学科



* 文学部
英米文学科 *



文学部
英米文学科



文学部
心理学科



文学部
心理学科

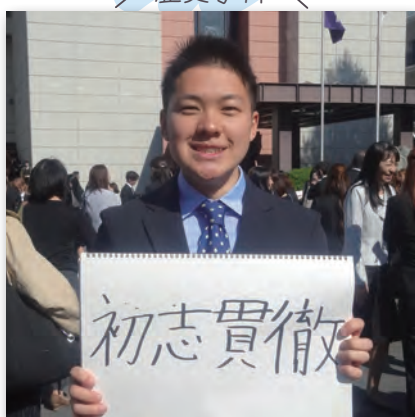


文学部
心理学科

文学部
英米文学科



文学部
歴史学科



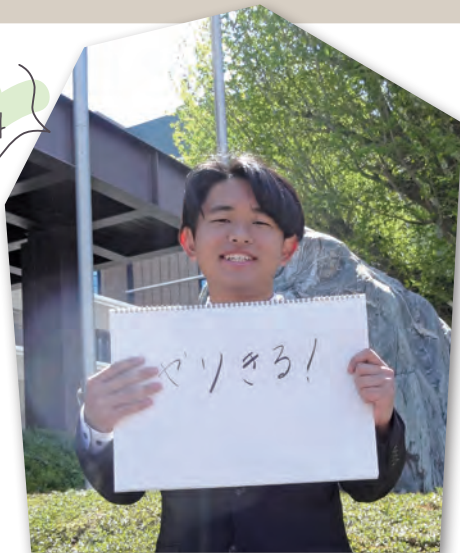
文学部
歴史学科



文学部
社会学科



法学部
法律学科



文学部
歴史学科

文学部
歴史学科



法学部
政治学科

法学部
政治学科

法学部
政治学科

法学部
政治学科



法学部
法律学科

法学部
法律学科

法学部
法律学科

法学部
政治学科



取材を終えて

桜の花びらが舞う快晴の春の佳き日に、今年も駒沢キャンパスにおいて盛大に入学式が行われました。入学式に参列する新入生にお声かけをして、スケッチブック取材への協力をお願いする際は、快諾していただけることが多く、「何事にも積極的にトライしていく駒大生の気質の片鱗を早くも入学式の段階で発揮しつつあるな」と感心するとともに、駒大の将来を頼もしく感じたのは私だけでしょうか。新入生の皆さんの希望にあふれた素敵な笑顔を見ていると、自然とこれからの皆さんの無限の可能性を応援したくなりました。そして、今回の取材を通じて、私たち自身が若き日にタイムスリップしてしまったかのような錯覚を覚える、そんな不思議な1日になりました。

取材にご協力をいただきました新入生、保護者の皆さんに深く御礼を申し上げます。

法学部
法律学科

法学部
政治学科

法学部
法律学科



学生表彰

学長賞

学長奨励賞

個人：37名 団体：3団体

個人：75名 団体：30団体

▶「第10回 台湾-日本放射線腫瘍学シンポジウム (第10回 TJROS & ISTPT 2025)」において、「Young Investigator Award」を受賞
●長澤翼 (医療健康科学研究科 1)

▶第19回日本診療放射線学会学術集会において、優秀研究発表賞を受賞
●三島和紗 (医療健康科学研究科 2)

2025 A.LEAGUE

A.League 年間最優秀選手

●木島凜人 (経営学部 3)

A.League Dream team

●服部拓海 (法学部 3)

●鈴木湊 (経営学部 2)

新人王 ●片本流良 (文学部 1)

第36回関東及び東日本学生空手道体重別選手権大会

男子組手－60kg級優勝 ●萩原楓 (経営学部 3)

男子組手－84kg級優勝 ●八城一樹 (文学部 2)

第53回全日本空手道選手権大会

女子個人組手 5位 ●亀森瑞貴 (経済学部 2)

第115回東部日本学生競技ダンス選手権大会

サンパの部 1位 ●富田大介 (GMS 学部 4)

全日本学生 RCS

クラス 1 昇格 ●今本末悠 (仏教学部 4)

第49回東日本トランポリン競技選手権大会

シンクロ女子優勝 ●楠引心温 (法学部 3)

第79回全日本学生体操競技選手権大会

男子個人総合 2位 ●川口雄飛 (経営学部 3)

平均台 2位 ●高木菜奈葉 (文学部 3)

ゆか 3位 ●松原陽南 (文学部 4)

第91回全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部

男子ダブルス 3位 ●前川祐輝 (法学部 4)

丹羽良 (経済学部 3)

秋季関東大学男子1部バレーボールリーグ戦

サーブレシーブ賞 ●吉田史暉 (法学部 3)

東京新大学軟式野球連盟 春季リーグ戦

ベストナイン、最多勝、最多奪三振

●吉田柊一 (文学部 3)

ベストナイン ●小山内琉宇 (経営学部 3)

東京新大学軟式野球連盟 秋季リーグ戦

ベストナイン ●年田博昭 (法学部 3)

●野口大翔 (経済学部 3)

ベストナイン、盗塁王、本塁打王

●長崎稜太 (経済学部 1)

第79回国民スポーツ大会ボクシング競技会

ミドル級 5位 ●荒木陽仁 (文学部 3)

NHKのど自慢

優勝 ●木津玲美 (GMS 学部 4)

全国都道府県対抗男子駅伝

3区区間賞 ●帰山侑大 (経済学部 4)

2025年度関東学生新進テニス選手権大会

男子ダブルス優勝 ●金田晴輝 (経済学部 3)

●野上剛瑠 (経済学部 1)

女子ダブルス優勝 ●横田真央 (文学部 3)

●弓削田きらら (経営学部 1)

団体の部

特に善行があって他の模範となる者又は学生団体

▶「世田谷区在宅療養講座学生展示企画」開催

●小野瀬ゼミ

▶ゼミフェス・ミニゼミフェスの企画・運営や、オープンキャンパスのゼミ企画などを行い、経営学部学生の模範となったため

●経営学部公認学生団体 KOSMOS

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

▶「インナー大会」と呼ばれる関東地区の経済・経営・商業系を専攻する学生を対象にした学術大会にて、ブロック優勝と決勝にて入賞

●松田ゼミ

▶全日本証券研究学生連盟主催の証券ゼミナール大会 第1テーマ「日本におけるベンチャーファイナンスのあり方」Bブロックにて優秀賞を獲得

●深見ゼミ (増田班)

▶証券研究関東学生連盟主催の春季セミナー大会「ディベートテーマ：企業は自社株買いを行っていくべきか」第3ブロックにて優秀賞を獲得

●深見ゼミ (佐竹班)

▶全日本証券研究学生連盟主催の証券ゼミナール大会 第3テーマ「国内株式市場の活性化」Aブロックにて敢闘賞を獲得

●深見ゼミ (石井班)

▶全日本証券研究学生連盟主催の証券ゼミナール大会 第3テーマ「国内株式市場の活性化」Bブロックにて敢闘賞を獲得

●深見ゼミ (伊藤班)

▶第10回学生シンポジウムの企画・運営などで中心的な役割を果たした

●経済学部ゼミナール連合幹事

▶世田谷区、地域、消防署、企業等と協働し、「防災コミュニティラボ」という防災イベントを実施し、防災対策の向上に多大な成果をあげたとして東京消防庁「地域の防災防犯功労賞(優良賞)」を受賞

●内海ゼミ

▶[Scale (Student Innovation College) 2025]にて提案したギフト用オーラルケア製品がプラン優勝および日本マーケティング学会賞を受賞し、商品化されることが決定

●菅野ゼミ

▶[Scale (Student Innovation College) 2025]にて、彼らが提案した社会課題を解決する印刷製品がプラン 2位を受賞

●菅野ゼミ

▶「2025年台日SDGs跨界共創-永續台南、城市遊牧」プレゼンテーション大会 第1位

●小野瀬ゼミ

▶放射線教育プロジェクト「RED-RINGプロジェクト」の一環として、第19回日本診療放射線学会学術集会にて「学習支援教材“Radiation PINBALL”を使用した講義の学習効果の評価」を発表し、教育奨励賞を受賞

●RED-RINGプロジェクト

▶放射線教育プロジェクト「RED-RINGプロジェクト」の一環として、第19回日本診療放射線学会学術集会にて「除去土壌再生利用を題材としたシミュレーション型討論ゲームの教育効果の検証」を発表し、優秀研究発表賞を受賞

●RED-RINGプロジェクト

▶2025年度放射線教材コンテスト(主催：日本科学技術振興財団)にて優秀賞と全国小学校理科研究協議会特別賞のダブル受賞

●ラジエーションサークル

▶GMSフォーラムにて優秀な発表を行った

●「さよならシンデレラ」

(テーマ：日本人若年女性の痩せ過ぎ問題)

●「高めAI隊」(タカメアイタイ)

(テーマ：AIディベートで批判的思考力を磨こう)

●「君の脳は。」

(テーマ：認知症の介護制度を身近に感じ、誰もが働きやすい社会を目指す)

▶公益社団法人日本放射線技術学会東京支部 Research Awardを受賞

小型犬循環動態シミュレーション開発チーム

▶東京新大学秋季リーグ戦

優勝 ●軟式野球部

▶第49回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント

3位 ●サッカー部

▶秋季関東学生卓球リーグ戦

1部昇格 ●卓球部

▶2025エイワ杯関東大学アイスホッケーリーグ戦 Division I B部昇格 ●アイススケート部

秋季関東学生囲碁団体戦

2部昇格 ●囲碁部

第37回関東学生ラクロスリーグ戦

2部昇格 ●女子ラクロス部

第33回関東大学対抗テニス選手権大会

優勝 ●硬式テニス部

第69回全日本大学空手道選手権大会

男子団体形 3位・女子団体形 3位 ●空手道部

第64回関東学生秋季レギュラーリーグ

2部昇格 ●ボウリング部

東都大学野球連盟春季リーグ

1部昇格 ●硬式野球部

第79回全日本学生体操競技選手権大会

男子 1部 3位 ●体操競技部

※記載の学年は令和7年度の学年です。

学長賞

個人の部

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

- ▶ **博士後期課程** 最短期間の課程により学位を取得し研究業績が著しく優れ、研究科委員会の推薦がある者。ただし、満期退学者が学位論文を申請するため、再入学した者は除く
 - 酒井海渡 (医療健康科学研究科 3)
 - 影山肇 (医療健康科学研究科 3)

- ▶ **学部** 取得科目平均点が100点満点中90点以上で、かつ全ての評価がA以上の者
 - 齋藤慎之介 (仏教学部 4)
 - 中野可奈 (文学部 4)
 - 吉田優衣 (経済学部 4)
 - 大石有香 (経営学部 4)
 - OH YEONGSEON (文学部 4)

▶ 公認会計士試験(論文式試験)合格

- 朝倉将太 (経済学部 3)
- 倉科海聖 (経済学部 4)
- 原田麻衣 (経済学部 3)

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

- ▶ **「ヒューマンインターフェースシンポジウム 2025」優秀プレゼンテーション賞受賞**
 - 浅野日向子 (GMS 学部 4)

- ▶ **「社会情報システム学シンポジウム」(社会情報学会共催) 優秀発表賞受賞**
 - 鎗田沙恵花 (GMS 学部 4)

- ▶ **エンタテインメントコンピューティング 2025における特選セッション発表認定およびサイバーエージェント賞の受賞**
 - 植野天翔 (GM 研究科 2 年)

- ▶ **エンタテインメントコンピューティング 2025における一般セッション優秀賞、デモ・ポスター発表に関する専門委員推薦賞の受賞、ティザー優秀賞の受賞**
 - 池上桃花 (GM 研究科 1)

▶ 第12回東アジア選手権大会

- 女子組手 - 61kg 優勝 ● 橋本鈴江 (文学部 3)
- 男子個人形 3 位 ● 石川大雅 (経済学部 1)
- 女子団体形準優勝 ● 酒井虹穂 (文学部 4)
 - 関澤愛莉 (法学部 3)
 - 稲璃岬 (文学部 3)

▶ 第53回全日本空手道選手権大会

- 女子団体組手 3 位 ● 藤樫くるみ (文学部 1)
- 男子団体組手優勝 ● 小高悠翔 (経済学部 1)

- ▶ **全日本女子アマチュアゴルフフェーズ選手権** 準優勝 ● 岩谷咲来 (文学部 3)

▶ 日刊アマゴルフ全日本大会

- 女子 3 位 ● 高田嘩琳 (経営学部 1)

▶ 2025年IBTF世界テクニカルパトントワーリング選手権大会

- スリーバトンシニア優勝
 - 池田りずむ (法学部 4)

▶ ワールドボクシングチャレンジ ウースターナドベラム 2025

- 男子 55kg 級金メダル ● 山口瑠 (経済学部 3)

▶ 第79回全日本大学ボクシング王座決定戦

- 最優秀選手賞 ● 中山颯太 (経営学部 4)

▶ 第79回国民スポーツ大会ボクシング競技会

- ライトフライ級準優勝 ● 谷晃蔵 (経営学部 2)
- バンタム級 3 位 ● 湯浅和樹 (経営学部 3)
- ウェルター級 3 位 ● 高田成之介 (法学部 2)

▶ 2025全日本ボクシング選手権大会

- バンタム級優勝 ● 熊本風真 (経済学部 1)
- 女子フェザー級準優勝
 - 岡山さくら (経営学部 1)

- ライト級準優勝 ● 中山鉦一 (経済学部 2)

- ライト級 3 位 ● 三村洸敬 (仏教学部 1)

- フライ級 3 位 ● 金谷成留 (仏教学部 4)

▶ 2025日本学生陸上競技個人選手権大会

- 男子 10000m 優勝 ● 伊藤蒼唯 (法学部 4)
- 男子 800m 優勝 ● 落合晃 (経済学部 1)

▶ 第26回アジア陸上競技選手権大会

- 男子 5000m 日本代表 ● 佐藤圭汰 (経済学部 4)

団体の部

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

▶ 第79回全日本大学ボクシング王座決定戦

- 優勝 ● ボクシング部

▶ Formula Gymkhana 2025 全国決勝大会

- 優勝 ● 自動車部

▶ 全日本大学駅伝対校選手権大会

- 優勝 ● 陸上競技部

学長奨励賞

個人の部

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

▶ 心理学検定特1級合格

- 藤田早紀 (文学部 4)
- 内田梨菜 (文学部 4)
- 森結咲 (文学部 2)

▶ 税理士試験2科目合格(簿記論・財務諸表論)

- 佐藤奎斗 (経済学部 4)

特に善行があって他の模範となる者又は学生団体

▶ UNIVAS AWARDS 2025-26 サポートイングスタッフ・オブ・ザ・イヤー (女子)

- 優秀賞 ● 鳥山梓希 (文学部 2)

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者又は学生団体

▶ 法学部政治学科 2025年度論文コンクール

- 最優秀賞 ● 森田麟太郎 (法学部 3)

▶ 第19回日本診療放射線学会教育学会学術集会にて学術奨励賞を受賞

- 御崎月音 (医療健康科学部 4)

▶ 令和7年度第1種放射線取扱主任者試験の合格

- 井上彰之助 (医療健康科学部 4)
- 中村結子 (医療健康科学部 4)
- 竹澤友悠 (医療健康科学部 3)
- 油井萌夏 (医療健康科学部 3)
- 松崎創之朗 (医療健康科学部 3)
- 今瑞希 (医療健康科学部 3)
- 平島秀哉 (医療健康科学部 3)
- 山田結菜 (医療健康科学部 3)
- 鈴木魁人 (医療健康科学部 3)
- 本郷真生 (医療健康科学部 3)
- 大塚優輝 (医療健康科学部 4)
- 小関貴斗 (医療健康科学部 4)
- 吉澤春仁 (医療健康科学部 4)
- 小鷹晴斗 (医療健康科学部 4)
- 大場健生 (医療健康科学部 2)
- 杉山航基 (医療健康科学部 4)
- 長峯源 (医療健康科学部 4)

▶ 日本経済新聞「未来面」にアイデア掲載

- 吉田実緒 (経営学部 1)
- 梶本怜奈 (経営学部 1)
- 田邊菜々子 (GMS 学部 4)
- 阿久津優太 (GMS 学部 3)
- 八尾坂優月 (GMS 学部 2)
- 山本瀬里 (GMS 学部 3)
- 阿部翼 (GMS 学部 3)
- 清水未来 (GMS 学部 3)
- 田島彩名 (GMS 学部 3)
- 田村結 (GMS 学部 4)
- 加藤木彩 (GMS 学部 4)
- 秋田圭佑 (GMS 学部 2)
- 本多一心 (GMS 学部 4)

▶ GMS フォーラムにて優秀な発表を行った

- 阿部祐二郎 (GMS 学部 3)

▶ 医学物理士認定試験に合格

- 伊藤草崎 (医療健康科学研究科 2)
- 遠藤花菜 (医療健康科学研究科 2)
- 中島祐奈 (医療健康科学研究科 2)
- 成見偲音 (医療健康科学研究科 2)
- 西澤慎 (医療健康科学研究科 2)
- 遠藤希益 (医療健康科学研究科 2)
- 鶴田真菜 (医療健康科学研究科 2)

駒澤大学体育会 ラグビーフットボール部



駒澤大学体育会ラグビーフットボール部は、1969年創部以来、自己規律と献身的なチームプレーを追求しています。本年度は、主将の森田麟太郎（4年）を中心に、より高いレベルでの勝利を目指し日々邁進しております。

この度はサークル活動奨励金を賜り、厚く御礼申し上げます。奨励金は、選手たちのコンディショニング維持や練習環境の整備に大切に活用させていただきます。



主将 森田 麟太郎（法学部政治学科4年）

日頃より温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。私たちはラグビー技術の向上はもちろん、学業との両立を徹底し、品位ある学生生活を送ることを部員全員で意識しています。一丸となって戦う姿を通じ、保護者の皆様に感動と元気をお届けしたいと思っています。皆様の応援が、チームの背中を押す最大の力です！

主な就職先(抜粋)

みずほ銀行／清水建設／住友林業／伊藤園／ツムラ／三菱食品／東京エレクトロニクス／J：COM／京セラコミュニケーションシステム／日本放送協会／セコム／東京都／世田谷区／神奈川県警察

H P <https://komazawa-rugby.com/>

S N S https://www.instagram.com/kurfc_rugby



H P



S N S

★サークル活動奨励金とは： 真摯に活動を続ける学生サークルを支援するための制度です。

★対象団体： 3年以上継続して大学へ活動実績（継続届・活動届）を提出している公認団体（※スポーツ推薦適用サークルを除く）

★支援内容： 1団体につき上限50,000円を支給

学生たちはこの奨励金を備品購入や大会・発表会の運営などに活用し、活動をさらに充実させています。

本奨励金を受給したサークルからの、熱意あふれる活動報告をぜひご覧ください。

駒澤大学管弦楽団

駒澤大学管弦楽団、通称「駒オケ」です。1976年に管弦楽研究会として設立され、現在団員は約40人。コロナ禍による活動停止とそれに伴う団員の減少を経て、OB・OGの方々のご協力を得ながら活動しています。主な活動は記念講堂で開催する年2回の演奏会です。地下練習室での日々の練習に加え、プロの先生によるパートレッスンも行っています。演奏会前には分奏や合奏を重ね、団員一丸となり音楽に励んでおります。演奏会のほかには新歓や合宿、学園祭などの行事があります。奨励金は楽器修理や備品購入に活用させていただいています。

幹事長 福井 和葉 (文学部社会学科3年)



副幹事長 山岸 亜里咲 (文学部社会学科3年)

駒オケは年齢に関係なく和気藹々と活動しています。経験豊富なOB・OGの方々と練習はとても勉強になり、演奏面だけでなく運営面でも多くのご支援をいただいています。現役同士も上下関係なく仲が良く、居心地のよい雰囲気です。仲間と過ごすときにはふざけ合ったりしますが、皆練習には熱心で、音楽と誠実に向き合う姿勢が駒オケの魅力だと思います。コロナ禍を経て、現在多くの方々に支えられながら活動できていることに心から感謝しております。



サークル活動奨励金 受給団体活動報告

日頃より教育後援会の活動に多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
本ページでは、皆様からの会費を基にした「サークル活動奨励金」を活用し、日々有意義な活動を行っているサークルの報告を掲載いたします。

文学部 国文学科

学科主任 挨拶

文学部 国文学科 主任
教授

倉田 容子
YOKO KURATA



言葉や文学は、人間の内面や文化・社会と密接にかかわりあっています。国文学科は言葉や文学を研究対象とする学科ですが、それは同時に、広く人間の営みについて探求することを意味していると言えるでしょう。本学では、日本語の歴史や方言について学ぶ「国語学」、古典から近現代文学までの「国文学」、そして日本文化の根幹にある「漢文学」の三つの領域を学びの柱とし、文化、社会、そして人間への洞察を、多角的に行うことを目指しています。

本学の国文学科の最大の特徴は、国語学2人、上代から近世までの古典文学5人、近現代文学3人、漢文学1人という、広範な時代・領域をカバーするバランスの良い専任教員の構成にあります。11人の専任教員に加え、多彩なジャンルを専門とする30人を超える非常勤講師が、国文学科に在籍する約620人の学生の指導にあたっています。

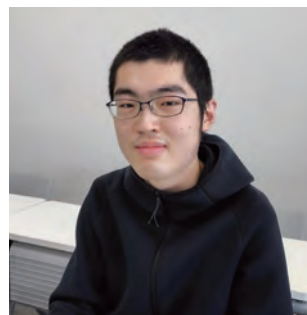
知識を習得するとともに、研究・分析手法の基礎を身につけることを目指します。2年次からは、国語・国文学の歴史を文化的背景とともに学ぶ国語史・国語学史・国文学史や、古典芸能や創作実践など多彩なテーマについて学ぶ国語学特講・国文学特講・漢文学特講など、より専門性の高い科目を受講します。

また、2年次からは国語国文学演習(ゼミ)がスタートし、各自が学びたい時代・分野について、少数数制できめ細かな指導を受けます。演習は、作品・文献資料の調査や読解分析を通じて、膨大な情報を整理・分析する方法を習得するとともに、発表・討論を通じてコミュニケーション力を鍛える場です。仲間たちと切磋琢磨しながら、卒業論文という集大成に向かって学びを積み重ねていきます。

国文学科の学びは、一見すると「実用」から遠いものに見えるかもしれませんが、しかし実は、文学や言葉と向き合うことを通して、読解力や思考力、調査能力、

プレゼン能力など、社会に出てから広く通用するオールマイティーな能力を身につけることのできる学科です。国文学科で過ごす4年間で、基礎的な力を鍛えつつ、深い洞察力や豊かな物の見方を身につけていってほしいと思います。





国文学科3年
古宮 朋樹

私は近世文学をゼミで学んでいます。近世、つまり江戸時代の文学の特徴は、都市部での識字率の向上などによる作品の多様化だと考えています。それまでは主に上流階級の間が独占していた文学が町人達に解放され、滑稽話や妖怪譚も多く生まれました。

近世文学には古典作品を元にした小説が多く、あらゆる作品を読んで知識を深めることが必要になってきます。それがこの研究の難しいところだと感じます。しかし、知識を積み重ねることで作品に対する理解が深まり、江戸時代の文化や価値観を現代でも味わえるところがこの研究の面白いところです。

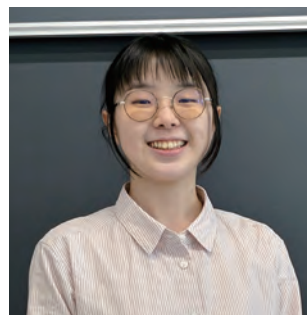
当時の常識や文化を学びつつ、作品を楽しむ姿勢を忘れずに研究に取り組んでいきたいと思っています。



国文学科4年
室久保 有紗

国文学科での学びを通して、私はこれまでの常識を相対化し、考え直すことができました。文学研究では、作者から自分からも距離を取り、客観的に論じることが求められます。物語に触れることで感情を得ながらも、その感情さえ客観的に見つめる姿勢は、文学に限らず今後生きていく上で、人と関わっていく上で必要な力となると思いました。

また、文学以外の学問を学ぶ上でも、文学研究で得た姿勢は活きていると実感しています。法律・歴史・宗教など文学に関係ないものに見えても、そこに人が存在する以上、物語は構成されます。こうした繋がりを感じたとき、私は国文学科で学んで良かったと感じます。



国文学科3年
金子 愛実

私にとって文学に触れることは、最も身近な旅です。しかしこれまででは、目線を作品世界の内側にばかり向けていたように思います。そんな中、国文学科での学びは、作品の外郭や関わりのないような場所にも目を向ける重要性に気づかせてくれました。

特に、ゼミは私の視野を外へと押し広げてくれる大切な場所です。近衛先生の繊細かつ熱心な指導に加え、学生同士の意見交流も盛んに行われており、良い刺激となっています。

一人で作品に向き合うことも、仲間たちと考えを磨き合うこともできる学生生活は貴重なものであると感じます。この貴重な時間で得たものを自分自身の開拓に繋げられるように、これからも精進したいと思っています。



国文学科 准教授
仲谷 健太郎

KENTARO NAKATANI

専門分野

日本上代文学

万葉時代の国際性

天の海に 雲の波立ち 月の舟
星の林に 漕ぎ隠る見ゆ

(巻七・一〇六八番歌)

(天の海に雲の波が立ち、月の舟は星の林に漕ぎ入って隠れようとしている)

右の和歌は『万葉集』に収録されるものです。題は「天を詠む」。夜空を海上に見立て、そこに浮かぶ月の動きを航海に喩えて詠う、雄大な一首です。きつとスター・ウォーズやガンダムのような、艦船が宇宙を駆け巡るSFの世界を思い浮かべた方もおられるのではないでしょう

しかし、『万葉集』が編まれたのは八世紀後半、奈良時代。アポロ11号が月へ

行くずっとずっと前のことです。残念ながら万葉人たちはスターシップやホワイトベースどころか、大気圏の外側の世界すら知りません。では、彼らはどのようにしてこのようなSF的発想に至ったのでしょうか。

その答えは星宿図と呼ばれる、古代中国で生まれた天文図です。理科で使う星座早見盤のように天体の配置を記すもので、奈良県のキトラ古墳にも描かれており、早くに日本へ伝わっていたことがうかがえます。奈良時代の日本では、星宿図のみならず、様々な天文知識が中国から輸入された書物によって学ばれていました。

万葉人は中国からの知識を土台にして、夜空と海を重ね合わせる宇宙的世界を発想するに至ったのです。

私は『万葉集』の和歌が、どのように

中国文学の要素を取り入れたかを研究しています。奈良時代の人々にとって、読書とはすなわち中国の書物を読むことでした。当時の貴族や役人たちは、教養として、実用的知識として、多くの中国文学を学習しました。現代の我々が教科書で学ぶ『論語』もそのひとつです。万葉人も我々も「子、曰く」と暗唱させられていたのだと思うと、なんだか親近感が湧いてきませんか？

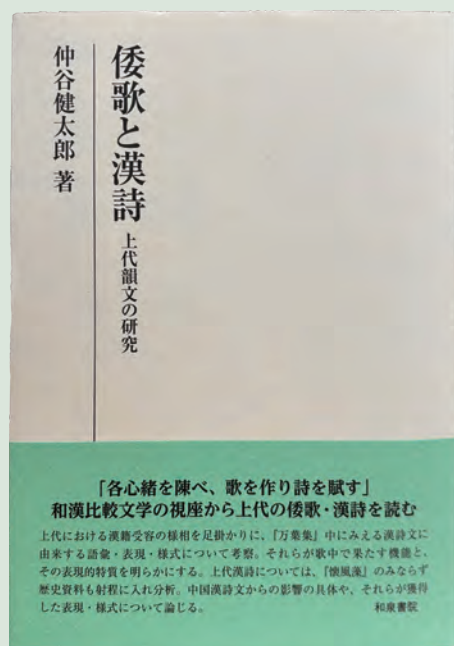
グローバル化が強調される昨今において、日本文学研究は内向きなものとしてとらえられがちです。しかしそもそも日本の文学は、ここまで述べてきたように中国をはじめとした東アジア諸外国との交流の上で成り立っていったものなのです。決して閉じたものではありません。奈良時代の皇族、長屋王が唐に贈った袈裟には、このような句が刺繍さ

れていました。

山川は域を異にすれども、風月は天を同じくす。

(日本と唐は山も川も違った異国同士ではあるけれど、私たちは風や月のように同じ天の下でつながっておりますよ)

異なる国家の人々を、同じ世界の住人として語る。この一節は万葉人にもグローバルがあったことを示しているのです。当時の国際交流関係の中で『万葉集』をとらえていく、そのような外向きな研究をこれからも目指していきたいと思えます。





国文学科 教授
松井 健児

KENJI MATSUI

専門分野
平安時代文学

『源氏物語』とともに

2024年に、紫式部を主人公としたNHK大河ドラマ「光る君へ」が放送されました。当時の建物が再現され、調度品や衣装にも細心の考証がほどこされた、見応えのある作品でした。

今年は、京都国立博物館で「特別展 源氏物語 王朝のかげやき」（2026年10月～11月）が催されます。『源氏物語』

をモチーフにした絵画や工芸品、写本などが一堂に集められる最大規模の展示です。東京国立博物館では2027年1月から3月まで、巡回展が予定されています。また、アニメ「この世界の片隅に」を制作した片渕須直監督による、『枕草子』をもとにした新作、「つるばみ色のなぎ子たち」の公開も期待されるところ

です。

このように『源氏物語』や平安時代の文学は、ドラマや絵画、アニメなどに变换されることによって、現在の私たちにも身近で、豊かな楽しみを与えてくれます。私も、『源氏物語』に親しみを持っていただけるようにと、一冊の本を書きました。『源氏物語の恋のことば100』（中央公論新社、2024年、1550円＋税）というものです。

この本では、『源氏物語』に登場する68人の人びとが語る100の言葉を厳選し、わかりやすい現代語訳を添えて、その背景や物語などを解説しました。ひとつの言葉を見開き2ページの短い話として収め、読みやすく、自然に『源氏物語』の世界に入ってゆけるように工夫しました。

たとえば、朱雀帝の言葉に「さりや、

いづれに落つるにか」（ほらね、その涙は誰のため）というものがありません。これは、朱雀帝が「私が亡くなっても、源氏との別れほどには悲しんでくれないだろうね」と語りかけたのを聞いて、ほろほろと涙をこぼす朧月夜（おぼろつきよ）の君（きみ）を見ての言葉です。朱雀帝は、自分を裏切った源氏に心を寄せるこの女性が愛おしく、憎むことができないのでした。

この出来事から私は、朱雀帝を「惜しみなく許す帝」として紹介しました。ほんの短いひと言が、その人の人柄や人生観までも表してしまうことがあります。そんな言葉の数々を集めたのがこの本です。

さいわい多くの方に、執筆意図を受け入れていただきました。昨年のオープンキャンパスで模擬授業をしたさいには、何人かの高校生が、この本を手にして訪

れてくれました。見るとたくさんの付箋が貼ってあります。今日は、質問をしようと思って来ました、と言っていただけなのは、嬉しいことでした。ゼミの教職課程の学生が何人か、介護等体験のために老人ホームを訪問します。学生が『源氏物語』を勉強していますと言つと、私も若いときに読みましたよと言われ、会話が盛り上がったと聞くことが、毎年のようにあります。

『源氏物語』は千年ものあいだ、読みつがれてきました。この物語を話題として、見知らぬ人どうしが会話をはずませることが出来ます。世代の異なる人とも、海外の人ともそれはできます。『源氏物語』は、人と人をつなぐ物語であることを、日々に実感するこの頃です。



わたしのゼミでは、日本近現代文学を研究対象にしています。文学研究は作家が作品に込めたメッセージや意図を発見するものと思われがちですが、必ずしもそうではありません。作品がフィクションである以上、作家は思っていないことを書くことができます。また、作品のことばかり何をどう受け取るかは読者の自由です。ただし、作家や作品はさまざまな文化・社会的事象や時代と密接に関わっています。それらを多角的に読み解くことで、自分の価値観や思い込みを崩壊させ、みずからを再構築していくところに、文学研究の醍醐味があります。



加藤邦彦ゼミ

専門分野

日本文学

演習テーマ

近現代詩、文学とメディア



国文学科 教授
加藤 邦彦

KUNHIKO KATO

卒論までのスケジュール

- ▼2年生
 - ・前期は戦前の詩、後期は戦後の詩について□頭発表
 - ・各学期末にレポートにまとめる
- ▼3年生
 - ・前期は短篇小説について□頭発表、レポートにまとめる
 - ・後期は各自でテーマを決めて□頭発表、レポートにまとめる
 - ・年度末にゼミ合宿、卒論の計画を練る
- ▼4年生
 - ・前期・後期どちらかに卒論で扱うテーマについて□頭発表
 - ・卒論草稿を執筆、教員と面談して講評および添削指導
 - ・夏にゼミ合宿、卒論の進捗状況について報告する
 - ・12月に卒論提出
 - ・1月にゼミ合宿、それぞれが書いた卒論を批評し合う

ゼミの特色は、二つあります。一つは、わたし自身の専門でもある近現代詩を扱う点です。日本文学や国文学を学科名に冠した大学でも、じつは近現代詩が講義や演習で取り上げられることは多くありません。それは、近現代詩を専門とする研究者が少ないからです。詩は、小説と比べてことばが少ない分、豊かな想像力で作品に書かれた世界をイメージしなければなりません。また、そこにこそ詩を読む面白さがあります。自分以外のゼミ生の解釈に耳を傾けてみると、自分一人では思いも寄らなかった新たな世界が開けてきます。そのことが、学生たちの成長を促します。



もう一つの特色は、ゼミ合宿です。大学では、4年間の学びの集大成として卒業論文を執筆します。しかし、ある日突然長い論文が書けるわけではありません。そこで、卒論完成に向けて、都合3回の合宿を行っています。そのなかで切磋琢磨しながら卒論に取り組むことは、学生たちにとって大きな励みになっているようです。合宿が多いこともあり、とてもフレンドリーなゼミです。学生同士が刺激を与え合うなかで成長していく姿をみるとは教員冥利に尽きます。もしかすると学生以上にわたしのほうが刺激をもらっているのかもしれない。

ゼミ生からひとこと



国文学科4年
井ノ口 愛彩

私は、詩を専門的に学べる大学は限られていると知り、このゼミに関心をもちました。ゼミでは、1年目に詩を研究し、2年目には小説にも取り組みます。特に興味深いのは、詩と小説で作品へのアプローチが異なる点です。詩は一つひとつの言葉に着目し、その意味や効果を丁寧に読み解いていくのに対し、小説は物語全体の構造や流れから作品を捉えています。こうした両者の違いを実体験として実感できる点は大きな魅力の一つです。

また、文学研究においては多角的な視点を取り入れることが重要であると考えます。多くの文献や少人数ゼミでのディスカッションを通じて、他者の意見に触れることで、自分一人では気づけなかった新たな発想が生まれ、論理を再構築していく過程に文学研究の面白さを感じています。



櫻井陽子ゼミ

専門分野

中世文学

演習テーマ

平家物語、軍記物語



国文学科 教授
櫻井 陽子
YOKO SAKURAI

卒論までのスケジュール

2年生	3年生	4年生
4月 5月 後期	4月 5月 後期 春休み	4月 5月 6月 7月 夏休み 9月 10月 11月 12月 1月 2月
発表準備のための概説、模擬発表・質疑応答 『平家物語』の担当箇所を1時間に1人発表 二巡目。1時間を一人で発表	発表準備のための概説、模擬発表・質疑応答 自分のテーマを設定し、1時間に2人発表 二巡目。1時間を一人で発表 卒論準備のためのレポート作成	春レポートを中心とした卒論構想・題目(仮)発表 卒論について今調べていることを発表 卒論の新聞となるようなレポートを作成 卒論について発表各論、行き詰まっていることなど 卒論提出 □頭試問 卒業論文作成のための原稿提出 卒業論文集完成

ゼミ生からひとこと



国文学科4年
堤 叶夢

櫻井演習では、軍記物語の中でも『平家物語』を中心に研究を行っています。2年生で初めて担当してゼミの資料を作成し、発表を行ったときは、興味を持った部分を取り上げてそれを調べるために何が必要なのか戸惑い、また、最初から最後まで自分が用意しなくてはならないことがかなり大変でした。未だに慣れてはいませんが…。

ゼミで発表を担当して印象に残っていることは、自分では予想もしていなかった様々な視点から質問をされたことです。自分の知見から離れた、知らない文献を引用して質問されたときは心臓が縮みました。ですが、ゼミ生からの意見をきっかけに調べて再度考察し直すことができたり、また新しく調べたいテーマを見つけることができたりして、学びが深まりました。

私の専門は中世文学です。2年生の演習(Ⅰ)では、古典文学研究方法の基礎を学ぶことを目的として、例年『平家物語』を扱っています。本文を数行ずつ担当し、じっくりと読みこみます。そのための辞書の使い方、本文検討の方法などを身につけます。次に、担当範囲から気になったり疑問に思ったりした言葉や事柄などについて、発展的に考察を加えます。資料は発表の1週間前に配付。他の学生はそれを読んで、前もって質問を提出します。発表者は回答を用意して、発表当日に臨みます。

発表担当者にとっては緊張が続き、気が抜けません。思いもかけない質問を受け、タジタジとなることシバシバ。アフタと準備をする羽目に陥ります。徹夜

明けの発表もママ見受けました。
3年生(Ⅱ)になると、『平家物語』を中心とはしますが、中世文学に関わる範囲で自由に題材を選びます。自分なりの関心・疑問・問題意識を掘り下げ、資料を作り、2年生と同じ段取りで発表と質疑応答をしていきます。対象の題材が広がり、疑問や関心の方向が多様になり、学生それぞれの個性がにじみ出てきます。何気ない質問が根本的な問題を提起することもあり、学生の鋭くしなやかな感性に驚くこともよくあります。
4年生(Ⅲ)では、その積み重ねの上に、卒論完成に向けて歩んでいきます。

時には大学から外に出て、鎌倉で中世文学ゆかりの寺社や旧跡を探訪したり、博物館で半日を過ごしたりもします。

自分なりの疑問を大切にし、



地方で活躍する 駒大卒業生の皆さん

輝く卒業生に
Close Up

Osaka



アニコム損害保険株式会社
西日本営業1部 近畿営業2課

山口 良樹さん

YOSHIKI YAMAGUCHI

愛知県名古屋市出身
愛知県立中村高等学校卒業
駒澤大学仏教学部仏教学科卒業（2025年3月）

『駒澤大学に入ってよかった』と考える今

私は現在、アニコム損害保険株式会社の営業職として大阪で勤務しております。地元である名古屋を離れ、駒澤大学での4年間を経て、現在の配属先に至りました。今回は、私の大学生活と現在の仕事とのつながりについてお話ししたいと思います。

両親が駒澤大学出身であったこともあり、高校生の頃から「上京して駒澤大学に進学したい」という思いを抱いておりました。ご縁に恵まれ入学を果たしましたが、1年次は新型コロナウイルスの影響により授業の大半がオンライン形式となり、思い描いていた大学生活とは少し異なるスタートとなりました。

サークル活動では、高校時代の同級生とともにオータムフェスティバル実行委員会に所属しました。しかし、1年次のオータムフェスティバルはオンライン開催となり、対面の活動が制限される中で、どこか物足りなさを感じていたことを覚えています。

2年次からは対面授業が再開され、ようやく日常的に大学へ通えるようになりました。学部やサークルの仲間と過ごす時間はかけがえないものとなり、充実した日々を送ることができました。また、教員免許の取得にも挑戦しました。教職課程では他学部の学生とともに学び、模擬授業や教育実習を通じて「相手の立場に立って分かりやすく伝える力」を養うことができました。最終的に教員の道には進みませんでしたが、この経験は現在の業務において大いに活かされています。

大学生活最大の思い出は、3年次に迎えたオータムフェスティバルです。自分たちの代での開催に向け、私も役職を担いながら1年をかけて準備を進めました。当日は1万人以上の来場者を迎えることができ、大きな達成感を味わいました。



大学生活



営業先



趣味はサッカー観戦とフェスへ行くこと

仲間と意見を交わしながら、先輩方が築き上げた既存の取り組みをより良い形へと磨き上げていく過程は、今の仕事に通じる大切な経験となっています。

就職活動では教育業界や音楽業界など幅広く検討しましたが、最終的に選んだのはペット保険業界でした。中でも業界最大手であるアニコム損保に入社し、オータムフェスティバル実行委員会で培った「既存のものをより良いものへブラッシュアップする力」を活かしながら、人やどうぶつの暮らしを支える仕事に携わりたいと考えました。

現在は、ペットショップやブリーダー、動物病院などを訪問するルート営業を担当しております。ペット保険の必要性をお伝えするだけでなく、日頃の感謝の気持ちを直接伝えることを大切にしています。代理店や動物病院それぞれの方々と向き合い、丁寧に説明を重ねる姿勢は、教職課程で身につけた「相手の立場に立って分かりやすく伝える力」そのものだと感じています。

駒澤大学で出会った仲間や経験は、今も私の原動力です。挑戦を後押ししてくれる環境の中で過ごした4年間は、間違いない今今の自分の土台になっています。上京したばかりで不安を抱えていた当時の自分に、「駒澤大学を選んでまちがいはない」と胸を張って伝えたいと思います。



ペット保険に加入している自宅の愛犬



大学生活



大学生活

気になる！ 就職活動



保護者の皆様が学生だった頃とは、就職活動の姿が大きく変化しています。そこで、現在の就職活動の動向についてお知らせします。

2027年卒の新卒採用スケジュール

就職・採用活動日程については、政府の関係省庁連絡会議において「就職・採用活動日程に関する考え方」^{*}が取りまとめられ、経済団体等に以下の要請が行われています。

- ・広報活動開始…卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降
- ・採用選考活動開始…卒業・修了年度の6月1日以降
- ・正式な内定日…卒業・修了年度の10月1日以降

しかし、右記日程と実際の就職活動の動きは乖離しています。内閣府による学部4年生及び大学院2年生を対象とした学生アンケート調査によると、約7割の学生が卒業・修了前年度の7月からインターンシップ等に参加しており、参加者の7割は「早期選考の案内」を受けるとともに、約6割はその後の「採用説明会・セミナー」に参加、約5割はその後の採用試験や面接等を受けているという調査結果があります。そして、3年次の授業が終了する2月以降に、最初に採用面接や内々定を受けたと回答した学生が増加し、4月までに累計で約9割が採用

面接を受け、約7割が内々定を得ており、6月までには累計で約9割の学生が内々定を受けているとの調査結果があります。

また、文部科学省による企業を対象としたアンケート調査では、広報活動を3年次の2月以前に開始した企業は約6割、採用選考活動を4年次の5月以前に開始した企業は約7割、それに伴い5月以前に内々定を出した企業は約6割となっており、**就活・採用活動日程ルールが形骸化していることが分かります。**

以上から、実態としては3年次の夏休みから本格化するインターンシップ等への参加を皮切りに就職活動が始まっており（就職活動の早期化）、早めに情報収集を行うことが肝心です。

^{*}就職・採用活動日程に関する関係省庁連絡会議

「2027年度卒業・修了予定者の就職・採用活動日程に関する考え方」（令和7年12月26日）

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/shushoku_katsudou/pdf/r071226_siryou.pdf

2027年卒の採用動向

株式会社マイナビの「マイナビ2027年卒企業新卒採用予定調査」^①によると、2027年卒の採用予定数は「増やす」が減少し、「前年並み」が増加するという調査結果となりました。

その背景として、近年続いていた採用拡大傾向の一方で「採用未充足」が常態化する企業が出ていました（26年卒の採用充足率は69.7%）。このため、確実に

採用予定数を確保できる現実的な採用目標数に引き戻す動きが出てきたと考えられます。また、生成AIやDXの進展により、デジタル人材など付加価値を生む人材に厳選して採用する方向にシフトする動きが考えられます（量から質へ）。

前年並みとは言え、依然として学生優位の「売り手市場」が続いています。低学年のうちから早めに情報収集をして的確に行動することが、納得のいく就職活動を行うための近道となります。

キャリアセンターによる支援

キャリアセンターでは、低学年から参加可能な様々なキャリア・就職支援プログラムを提供しています。全ては書ききれないため、一部をご紹介します。

「1・2年生から参加できるプログラム」

まず「新入生オリエンテーション」や「キャリアガイダンス」を開催し、卒業後のキャリアを見据えて大学生活を過ごすことの大切さや、キャリアセンターの活用方法など基礎的な内容を中心に解説しています。次に就業体験プログラム「JOBツアー」、業界研究イベント「JOBサファリ」、企業見学会を行う「JOBビジット」、世田谷区と区内大学が合同で行う「世田谷区学生交流プログラム」など、学生のモチベーションを高めながら自然と将来のキャリアを意識でき

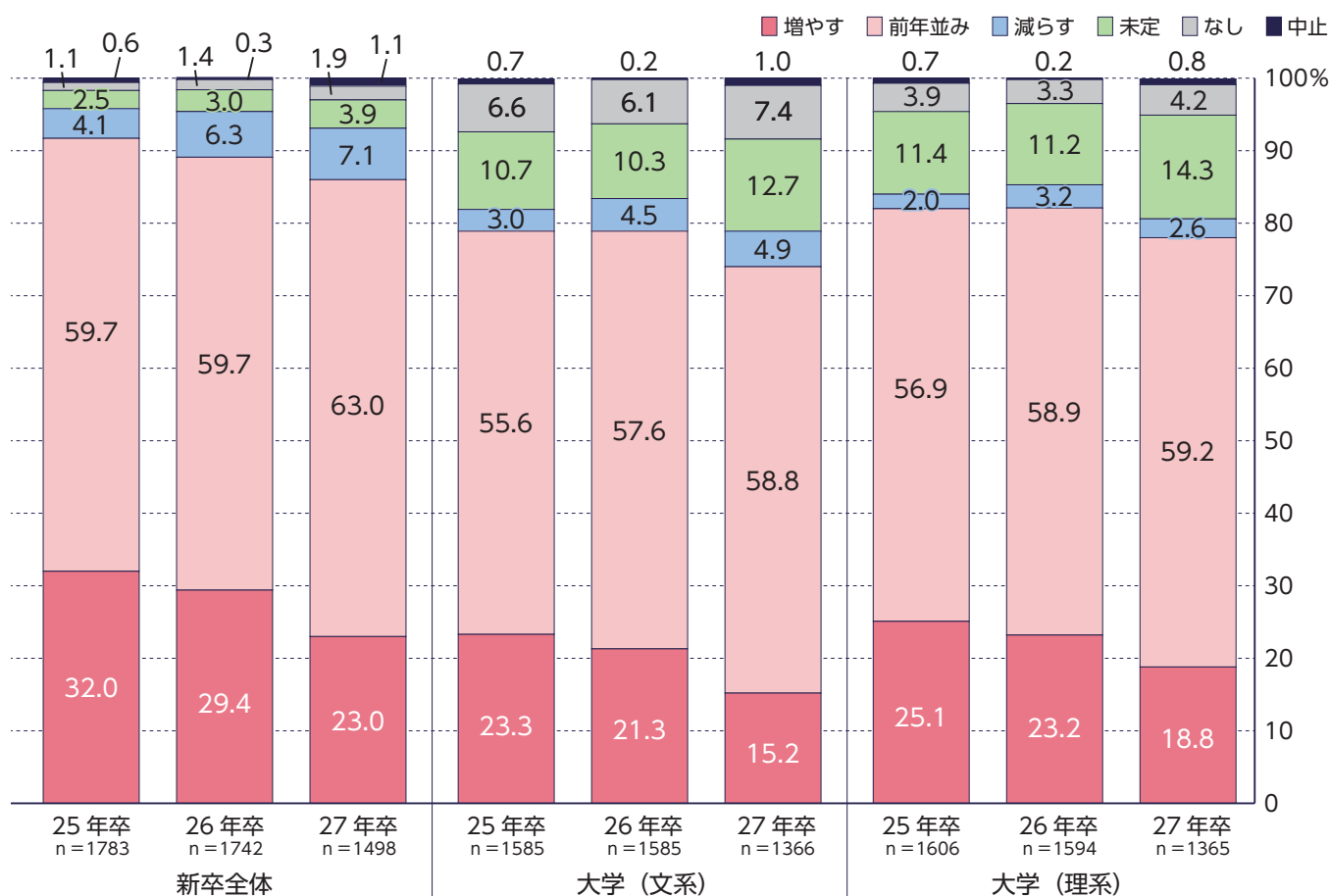
るプログラムを設けています。公務員への就職を希望する学生向けには「公務員入門講座」を開講し、学内で「資格の大本」の講師による公務員試験対策を学べる環境が用意されています。

「主に3・4年生を対象としたプログラム」

「就職ガイダンス」を年4回程度開催し、時期に合わせたテーマを扱い、外部講師や内定を得た4年生の協力のもと、本選考に役立つ具体的なアドバイスを行います。「合同企業説明会」を年5回程度開催し、年間約250社の優良企業から仕事内容について話を聞ける機会を設けています。より実践的な就職対策講座として、企業等で採用面接官の担当経験者を講師とする「就活集中セミナー」「就職ゼミ」「エアライン講座」や、生成AI実践力を身に付ける「デジタルマーケティング講座」、このほか「公務員学内講座」「公務員合同説明会」「教員試験対策講座」「県別リターン就職フェア」など、多種多様なプログラムを提供し、学生の就職活動を全面的にサポートしています。

キャリアセンターでは学生との「個別相談」に力を入れています。月曜日から金曜日まで予約なしでキャリアカウンセラーに相談できます。エントリーシートの添削や面接練習など、就職活動で気になることがあれば何でも相談しに来てください。

採用予定数



「マイナビ 2027 年卒企業新卒採用予定調査」
(2026 年 2 月 25 日) より作成

https://career-research.mynavi.jp/research/20260225_107886/



キャリアセンター内観



この春（2026年3月）に卒業されたお二人から、
就職活動を振り返っての感想と後輩の皆さんへのメッセージを寄せていただきました。

経済学部 商学科 卒業

藤井 祥乃さん

日々の経験を 自分自身の表現材料に

就職先

りそなグループ

私は3年生の10月頃に就職活動を本格的に開始しました。大学入学時に専門的な知識を身につけたいと考え、税理士試験に挑戦しました。大学3年次までに会計科目2科目を取得することができました。そのためこのまま勉強を続け税理士になるか、一度就職活動に本格的に取り組み将来の選択肢を広げるか、とても悩みました。しかしアルバイトでお客様のお役に立てた時、仕事に対してやりがいを感じた経験を振り返り、お客様に寄り添いながら会計の専門知識を活かして貢献できる仕事がしたいと思い、金融業界に進みたいと考えようになりました。

金融業界の中でも、幅広い層のお客様と長期的な信頼関係を構築し、人々の生活の根幹を担い、日々自己成長が求められる環境に魅力を感じ、銀行を志望しました。

就職活動を振り返り、お伝えしたいのは大学4年間で様々な経験をしてほしいということです。友人と遊ぶ時間やアルバイトに打ち込む時間も大切ですが、それに加えて自分自身の付加価値となるような経験をしてほしいと思います。

例えば一人で短期留学をしてみたり、資格試験に挑戦したり、小さなことでも構いません。その経験が、就職活動の際に自分が何を大切にしているか、これから何を歩みたいかを考えるきっかけになり、業界や企業選びの指標になると思います。ぜひ大学4年間でしかできない挑戦をしてみてください。皆様の就職活動を応援しております。

法学部 政治学科 卒業

中村 玲音さん

民間か公務員か、 葛藤の末に選んだ 「納得のいく進路」

就職先

目黒区役所

私は大学2年生の秋から本格的に就職活動を始めました。当初は民間企業も視野に入れていましたが、社会貢献性の高さに魅力を感じ、公務員試験を第一志望に据えました。学業と試験勉強の両立は平坦ではありませんでしたが、日々の積み重ねを大切に学習を進めました。特に、民間企業の早期選考対策は、10～12月にあるため、公務員も目指すとなるとスキマ時間も無駄にできませんでした。最終的な進路決定にあたっては、自分のキャリアビジョンや働く環境を改めて見つめ直し、納得いくまで考え抜いた末、2026年4月から目黒区職員として歩むことを決めました。複数の内定を得たり、周りの進捗が耳に入ったりすると焦ることもあるかもしれませんが、最後に決めるのは自分自身です。私自身、内定を辞退する際の連絡など、精神的にタフな場面もありましたが、誠実に対応することで一つひとつ区切りをつけ、前を向くことができました。進路を決めるにあたって、「自分がどこで、どのように貢献したいか」という直観を大切にしました。迷ったときは大学のキャリアセンターや周囲に相談しつつ、最後は自分の意志で決断したことが、現在の社会人生活への自信に繋がっています。皆さんも自分を信じて、後悔のない選択をしてください。応援しています！



気になる！就職活動 キャリア・就職支援スケジュール

キャリアセンターでは、各年次向けのキャリア・就職支援プログラムを用意しています。各プログラムの開催日時や参加方法等は、KONECO やメールでお知らせしていますので、確認してください。

下表は、キャリアセンターによる4年間を通して実施される主なキャリア・就職支援プログラムをまとめています。これらのプログラムを上手に活用して、自身のキャリア形成や就職活動に役立ててください！

ステップ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1・2年生 自分自身を知り、 未来の可能性を広げる	新入生オリエンテーション	キャリアガイダンス(年2回)			就業体験プログラム		キャリアガイダンス(年2回)				就業体験プログラム	
		キャリアデザイン講座					キャリアデザイン講座					
		公務員入門講座								公務員合同説明会	第1回就職ガイダンス	
3年生 社会を知り、 自分を磨く 万全の準備で、 就職活動へ備える	第2回就職ガイダンス	第3回就職ガイダンス				第4回就職ガイダンス						
		就活集中セミナー			キャリアセンター主催 インターンシップ			就活集中セミナー				
			卒業生に聞いてみよう(年4～5回)				卒業生に聞いてみよう(年4～5回)					
			内定者アドバイス会(年2～3回)				内定者アドバイス会(年2～3回)					
		公務員・教員・就職試験対策学内講座										
		業界研究イベント					業界研究イベント			公務員合同説明会	学内合同企業説明会	
		留学生向けガイダンス					Uターン就職ガイダンスフェア					
4年生 納得のいく 進路選択で、 社会人への一歩 を踏み出す		公務員試験対策講座										
		学内合同企業説明会(年5回程度)										
全学年 成長を支え、 キャリアを 共に描く	WEB 資格講座											
	個別相談											

※駒澤大学で実施している年間350回以上にも上る多彩なキャリアプログラムから一部を抜粋して紹介しています。

◆ 事前申込要 ◆ 事前申込不要 ★ 受講料要 ☆ 受講料不要

各項目の解説	◆ ☆	新入生オリエンテーション	進路を考えるうえでこれからの大学生活がどのようにかわっていくのかをお話しします。
	◆ ☆	2年生キャリアガイダンス	2年生対象の講座です。自分と向き合うきっかけ、職業観の涵養、就職市場では、今、何が起きているのか！ 早期化する就活に対して、キャリア形成の意識づけをしていく講座です。
	◆ ☆	キャリアデザイン講座	低学年次から自分の将来について意識してもらい、キャリア・進路を考えていく講座です。
	◆ ☆	インターンシップ	一般企業や自治体で就業体験することで、自分なりの職業観の形成に役立てられます。
	◆ ☆	就職ガイダンス	就職への心構え、就職戦線の状況解説講演会、就職活動時のマナーのアドバイスなど。
	◆ ☆	就活集中セミナー	学外の就職コンサルタントが「自己分析の仕方」「エントリーシートの書き方」「模擬面接」など実践的な就職活動の指導を行います。
	◆ ☆	業界研究講座	さまざまな業界の人事担当者が企業の姿や働くことの意義、求める人材像等をお話しします。
	◆ ☆	学内合同企業説明会	時期に合わせた開催規模で実施し、参加企業が駒大生限定で個別説明を行います。
就職・資格試験対策講座	◆ ★	就職試験対策	公務員対策：3年生を対象に大原学園の公務員通学コースを学内にて開講します。対面およびオンライン形式にて学習環境を用意し、さまざまな試験種に対応した2コースで合格につなげます。
	◆ ★		教員採用試験対策学内講座：専門学校(東京アカデミー)と提携し、充実したプログラムを用意。
	◆ ★		就職対策特別講座：内定を獲得するための特訓プログラム。
	◆ ★	資格試験対策	WEB 資格講座：MOS・FP 技能士・宅建士・簿記・TOEIC・秘書検定など、学生に人気で仕事に役立つ27のWEB資格講座が年間1万円(税別・テキスト代別)で受け放題。

オススメ
情報

駒澤大学に送られてきた求人票を見たい
 本学OB・OGの就職活動の記録が見たい
 …それなら

→ 駒澤大学就職支援システム 駒キヤリ

- ・本学学生であれば学外からも閲覧可能です。
- ・企業ごとにいつ頃・どのような試験があったか、どのような対策を行って内定を勝ち得たかなど、本学OB・OGが残してくれた生きた情報が見られます。

● 会員の皆さまが参加できる行事 ●

5月第2土曜日

定期総会・駒沢キャンパス構内見学会

定期総会

…昨年度の活動等を会員の皆さまにご報告します。

駒沢キャンパス構内見学会

…図書館・禅文化歴史博物館・学生食堂を自由に見学・利用いただけます。また坐禅堂において、参禅部の協力のもと、坐禅を体験することができます。

5月～7月

教育懇談会

駒澤大学と共催で、全国各地の会場に大学担当者と教育後援会代表が伺います。大学の近況をご報告するとともに、学業成績や就職等について説明いたします。その後教職員と懇談しながらご昼食となります。



1月第5土曜日

新年賀詞交歓会

毎年都内の会場で行われるこの会。美味しい料理を食べながら、教職員や同じ学部のご父母（保証人）の方と交流できる機会です。サークルのアトラクション、福引抽選会など、楽しいイベントが盛りだくさんです。毎年11月号の会報で参加募集をしています。



10月

一泊参禅研修会

秋に福井県の大本山永平寺、神奈川県の本山総持寺において、毎年（それぞれ隔年）で行っています。普段の生活から離れ、曹洞宗の本山で修行体験はいかがでしょう。毎年7月号の会報で参加募集をしています。



通年

サークル応援

各試合・発表会の情報はホームページにてご確認ください。



駒澤大学はサークルも頑張っています！
皆さんで応援に行きましょう！

駒澤大学 教育後援会の活動紹介

駒澤大学・大学院に在籍する学生のご父母（保証人）の皆さまを会員として、昭和34年に設立された組織です。大学と家庭との連絡を図り、教育的効果の向上に資するとともに、会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的としております。会員の皆さまの中から選出された委員が、さまざまな行事や広報の運営を行っております。ここでは、教育後援会の活動を紹介いたします。

・ 広報活動 ・

会報の発行

毎年3回、7・11・3月に発行しています。駒澤大学での学生生活、大学からの情報、教育後援会の活動報告をご紹介します。



※大切な情報もありますので、
ご住所を変更された際は、
大学に住所変更をお届けください。

カレンダー、 パンフレットの作成

カレンダーには教育後援会の行事予定のほかに、学生の行事、授業の予定も記載されています。3月発行の会報と共に、翌年度のカレンダーをお送りします。



ホームページ

教育後援会の活動のほかに、サークル情報、学生生活の報告など、随時更新中です。



<https://www.komazawa-k.org>

・ 支 援 ・

家計急変学生に対する 一時給付金の支給

保証人の死亡等により家計が急変し、就学を続けることが困難になった学生を対象に、月額5万円を6カ月支給しています。

助成金・祝賀金・褒奨金

学生のサークル活動の育成・支援のために助成金、祝賀金を支給。また、功労が認められた団体・個人に褒奨金の支給を行っています。

学内奨学金資金への 寄付

「学業奨励型」、「経済支援型」として給付している学内奨学金の原資となるよう、寄付をしています。

令和7年度 教育支援事業一覧

- ① 学内奨学金(学業成績最優秀者奨学金・駒澤大学百周年記念奨学金)資金
- ② ゼミ合宿宿泊費補助
- ③ 家計急変学生に対する一時給付金
- ④ 学生への食育支援事業(100円朝食)
- ⑤ 令和7年度 就活集中セミナー
- ⑥ 令和7(2025)年度学位記授与式における学位記ファイルの発注
- ⑦ スポーツ推薦選抜適用サークル学外指導者補助費
- ⑧ スポーツ推薦選抜適用サークル以外の学外指導者補助費
- ⑨ 「駒Dining」夜間営業による玉川キャンパス利用サークル所属学生への食育支援事業

- ⑩ 駒澤大学カラダスマイルプログラム(食支援プロジェクト)
- ⑪ 駒澤大学カラダスマイルプログラム(野菜摂取量測定・サラダバー・ベジ選手権)
- ⑫ マイボトル対応ウォーターサーバーの運用維持
- ⑬ ランチスペース提供プロジェクトの展開
- ⑭ オータムフェスティバル
- ⑮ 「TOEFL® 対策講座」 「IELTS™ 対策講座」 講座受講料補助
- ⑯ 学生団体(サークル)における上級救命講習受講支援
- ⑰ 学生相談室・学生サロンの環境整備
- ⑱ 共用スペースの拡充(学生の居場所確保)

駒澤大学
カラダスマイル
プログラム



2026 年度 教育後援会執行部・監査紹介



会 長
福島 誠



副会長
成田 亜由美



副会長
小峰 美幸



副会長
千年 英一郎



副会長
大石 将貴



副会長
岡崎 敏樹



顧 問
井垣 達也



顧 問
兼松 リカ



監 査
土屋 和伸



監 査
坂井 晴行



監 査
野口 洋岳

駒澤大学役職者紹介



理事長
小島 泰道



総 長
永井 政之



常勤監事
吉田 民



学 長
教育後援会名誉顧問
村松 哲文



副学長
教育後援会名誉顧問
兼村 栄哲



副学長
教育後援会名誉顧問
吉村 誠



総務局長
教育後援会名誉顧問
山口 永倫



財務局長
教育後援会名誉顧問
峰田 典子



教務部長
教育後援会学内幹事
畠山 寛



学生支援センター所長
教育後援会学内幹事
晴山 俊英



図書館長
矢野 秀武



仏教学部長
熊本 英人



文学部長
近衛 典子



経済学部長
松田 健



法学部長
内海 麻利



経営学部長
飯田 哲夫



医療健康科学部長
志村 一男



グローバル・メディア・
スタディーズ学部長
服部 哲



総合教育研究部長
中村 哲子



法曹養成研究科長
上杉 雅央

教育後援会 定期総会報告



教育後援会総務部
部長
北川 達也

令和8年5月9日、令和8年度駒澤大学教育後援会定期総会が記念講堂にて開催されました。爽やかな晴天に恵まれ、早朝から229名の会員の皆さまにご来場いただき、和やかな雰囲気の中で総会が始まりました。

冒頭では井垣達也教育後援会会長より、教育後援会は学生を支えると同時に、会員の皆さま自身が大切な一員であること、そして会費によって活動が支えられていることが改めて示されました。保護者同士のつながりを大切にしながら、学生支援をさらに充実させたいという思いが語られました。

続いて、教育後援会名誉顧問の村松哲文学長よりご挨拶がありました。学長は「誰からも愛される大学」を目指し、学生が授業の中間にも集えるラウンジ整備やキャンパス環境の改善など、居場所づくりの取り組みを紹介されました。また、大学と後援会が協力し合うことの

重要性が述べられ、会場からは賛同の拍手が送られました。

学生支援担当副学長の吉村誠先生からは、大学の教育・学生支援の近況が報告されました。「心の育成・学びの共同・つながりの提供」を軸に、教養教育を広げる「駒澤教養パスポート」、禅を基盤とした国際交流プログラム「こころ禅」、データサイエンス・AI教育の強化、アマゾンとの連携によるDXフロンティア育成プログラムなど、多様な学びの機会が紹介されました。図書館の電子書籍拡充や博物館との連携など、学びの環境整備についても説明がありました。

その後、教育後援会役員および名誉顧問・学内幹事の先生方の紹介が行われました。

議事では、第1号議案「令和7年度事業報告・決算報告」、第2号議案「監査報告」が承認されました。続く第3号議案「令和8年度事業計画案・予算案」では、教育懇談会の開催や学生支援事業の拡充などが説明され、承認されました。第4号議案「令和8年度会長・副会長・監査の選出」では、福島誠新会長をはじめとする新役員が承認されました。

報告事項では、三重・熊本・長野の各支部活動に加え、新たに静岡県支部が設

立されたことが紹介されました。地域での交流会や駅伝応援、校内見学会など、保護者同士のつながりを深める活動が報告され、会場からは温かい拍手が送られました。

すべての審議終了後、教育後援会の伝統行事「禪リレー」が行われ、井垣会長から福島新会長へ禪が手渡されました。会場は大きな拍手に包まれ、後援会の想いが確かに受け継がれる瞬間となりました。

最後に福島新会長より、保護者同士がつながり、学生を支える組織としての役割を大切にしながら、時代に合わせた運営を進めていきたいとの挨拶があり、閉会となりました。

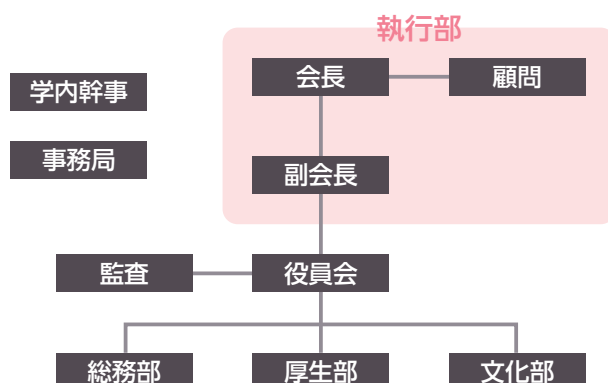


2026年度 教育後援会 委員名簿

執行部・監査				総務部				厚生部				文化部			
役職	参加者名	学科	学年	役職	参加者名	学科	学年	役職	参加者名	学科	学年	役職	参加者名	学科	学年
会 長	福島 誠	歴考	4	部 長	北川 達也	歴日	4	部 長	寺内 正人	法律	4	部 長	小林 哲夫	商	4
副会長	成田 亜由美	市場	4	副部長	大谷 しおり	商	4	副部長	平塚 曜子	GM	4	副部長	瀧川 里香	経済	4
副会長	小峰 美幸	GM	3	副部長	梅林 栄美子	GM	3	副部長	川村 宗之	歴考	3	副部長	神谷 浩史	経済	3
副会長	千年 英一郎	政治	3	委 員	荒川 陽成	商	4	委 員	大塚 順子	地環	4	委 員	安部 浩子	歴考	4
副会長	大石 将貴	地文	2	委 員	北川 千佳子	歴日	4	委 員	竹内 淳一	経済	4	委 員	平 正佳人	法律	4
副会長	岡崎 敏樹	法律	2	委 員	渡辺 隆史	政治	4	委 員	成田 一守	市場	4	委 員	恒松 千穂	法律	4
顧 問	井垣 達也	法律	R7卒	委 員	渡辺 留美	政治	4	委 員	平塚 隆	GM	4	委 員	中山 祐紀子	地環	4
顧 問	兼松 リカ	法律	R7卒	委 員	梅林 淳	GM	3	委 員	村上 元洋	GM	4	委 員	林 大輔	地文	4
監 査	土屋 和伸	経営	4	委 員	梶原 祐子	経済	3	委 員	石井 奈美	GM	3	委 員	林 かおり	地文	4
監 査	坂井 晴行	商	3	委 員	木村 文江	仏教	3	委 員	久保木 幸絵	英米	3	委 員	山本 敏彦	法律	4
監 査	野口 洋岳	法律	1	委 員	早乙女 悦子	政治	3	委 員	小関 美紀	国文	3	委 員	山本 直子	法律	4
				委 員	武田 恵載	地文	3	委 員	高荷 順子	心理	3	委 員	青柳 愛	仏教	3
				委 員	野島 亜浩	仏教	3	委 員	高橋 綾子	GM	3	委 員	青柳 清隆	仏教	3
				委 員	野島 真樹	仏教	3	委 員	東条 直子	政治	3	委 員	島村 聡子	経済	3
				委 員	坂内 朋美	経済	3	委 員	西村 恵子	経営	3	委 員	関川 由香里	心理	3
				委 員	古谷 一美	現応経	3	委 員	姫浦 尊	GM	3	委 員	中根 恵美子	GM	3
				委 員	森口 嘉子	社福	3	委 員	星 ひろみ	歴外	3	委 員	赤荻 政子	仏教	2
				委 員	渡邊 かおり	社福	3	委 員	村上 早苗	経営	3	委 員	出井 良輔	GM	2
				委 員	秋山 理恵	法律	2	委 員	青柳 理郎	仏教	2	委 員	岡庭 直人	地環	2
				委 員	尾形 崇子	歴外	2	委 員	伊藤 美恵子	市場	2	委 員	齋藤 美樹	政治	2
				委 員	加藤 路世	GM	2	委 員	織田 明子	現応経	2	委 員	澤田 栄一	国文	2
				委 員	金子 秀樹	仏教	2	委 員	管家 立顕	地環	2	委 員	田後 真紀子	地環	2
				委 員	川鍋 勝弘	社福	2	委 員	近藤 亜矢子	国文	2	委 員	千葉 真奈美	商	2
				委 員	木村 貴代	社福	2	委 員	近藤 博志	国文	2	委 員	中根 隆行	法律	2
				委 員	木村 俊晴	社福	2	委 員	下重 雅史	政治	2	委 員	吉田 晶子	法律	2
				委 員	後藤 正紀	歴外	2	委 員	中村 繁之	歴日	2	委 員	渡邊 理香	国文	2
				委 員	高山 房子	地環	2	委 員	野口 祐子	国文	2	委 員	伊藤 公祐	国文	1
				委 員	千葉 啓子	市場	2	委 員	松村 みどり	医療	2	委 員	大野 京子	仏教	1
				委 員	中野 和恵	経済	2	委 員	岩本 嘉代子	現応経	1	委 員	大野 貴司	仏教	1
				委 員	山田 一美	法律	2	委 員	倉島 健一	社福	1	委 員	小川 良子	経営	1
				委 員	佐藤 祥恵	歴考	1	委 員	倉島 直子	社福	1	委 員	竹下 美喜	市場	1
				委 員	関 信哉	国文	1	委 員	黒川 佳織	心理	1	委 員	谷村 幹	GM	1
				委 員	関 愛	国文	1	委 員	佐武 弘章	経営	1	委 員	中田 尚志	政治	1
				委 員	孫 あかね	GM	1	委 員	田邊 香奈子	経済	1	委 員	細川 薫	英米	1
				委 員	高木 しのぶ	社社	1	委 員	仁平 純子	経済	1				
				委 員	高橋 留美子	医療	1	委 員	堀口 佐知	歴外	1				
				委 員	早川 由香	国文	1	委 員	堀口 俊介	歴外	1				
				委 員	福井 寛隆	仏教	1	委 員	八木 健	GM	1				
				委 員	矢野 健太郎	経済	1	委 員	山口 達也	商	1				
				委 員	矢野 利得	経済	1								
				委 員	山田 茂美	経済	1								

※上記名簿は5月9日(土)
定期総会時点のものです。

駒澤大学教育後援会組織図



- ◆会長・副会長・監査・各部長・各副部長をもって役員会を構成する
- ◆要望・提案等の処理
 - 大学からの要望等
大学→執行部→役員会→委員総会
 - 各部からの提案・要望等
各部長→執行部→役員会→委員総会

2025(令和7)年度 教育後援会収支決算報告書

自2025(令和7)年4月1日～至2026(令和8)年3月31日

収入の部

(単位: 円)

項 目	2025予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	摘 要
前年度繰越金	107,230,217	107,230,217	0	
入会金	18,595,000	18,460,000	△ 135,000	@5,000円×3,692名(入学者数) ※但し、入学辞退者等対象外となる人数も含む
会費	148,660,000	145,610,000	△ 3,050,000	@5,000円×29,122件(年会費10,000円) ※但し、入学辞退や9月等対象外となる学生も含む
会合参加費	2,300,000	2,457,000	157,000	夏季委員研修会・委員研修会の参加費
積立金取崩収入	0	0	0	積立金の取崩収入
雑収入	400,000	1,110,672	710,672	銀行利息(普通預金・定期預金)・その他
合 計	277,185,217	274,867,889	△ 2,317,328	

支出の部

(単位: 円)

	項 目	2025予算額(A')	決算額(B')	差異(B'－A')	摘 要	
運営費	会議費	1,050,000	662,548	△ 387,452	総会・役員会等諸経費	
	消耗品費	150,000	64,179	△ 85,821	事務用品・消耗品	
	印刷製本費	600,000	197,072	△ 402,928	定期総会資料等印刷費	
	通信費	660,000	486,741	△ 173,259	各種会議等案内状送料・切手等諸経費	
	旅費交通費	2,400,000	1,056,928	△ 1,343,072	各県支部長などの総会等出張費・委員の委員会等交通費	
	運営渉外費	252,500	252,000	△ 500	卒業委員に対しての卒業アルバム等購入費	
	ホームページ経費	5,900,000	5,917,722	17,722	ホームページ更新・管理料等諸経費	
	運営雑費	2,250,000	1,285,245	△ 964,755	各種グッズ・各種手数料・諸経費	
	計	13,262,500	9,922,435	△ 3,340,065		
一般事業費	研修費	13,200,000	13,390,404	190,404	会員研修会・新年賀詞交歓会等諸経費	
	教育懇談会費	9,629,000	9,211,131	△ 417,869	教育懇談会 印刷費、荷物等発送費、役員出張費、昼食費、 現地経費、オンライン対応など諸経費	
	各部活動費	3,400,000	2,264,973	△ 1,135,027	各部(執行・総務・厚生・文化)活動諸経費	
	支部活動費	3,650,000	1,789,396	△ 1,860,604	支部事務費及び運営補助費	
	会報等発行費	22,897,040	20,409,790	△ 2,487,250	会報作成等経費	
	弔慰金	1,260,000	360,000	△ 900,000	会員・学生・教職員弔慰金	
	事業渉外費	6,250,000	5,187,575	△ 1,062,425	サークル応援・各種学校関連行事への参加費等経費	
	事業雑費	0	0	0	掲示物筆耕料・学生アルバイト料	
	計	60,286,040	52,613,269	△ 7,672,771		
特別事業費	学生指導費	8,000,000	7,864,820	△ 135,180	卒業証書(学位記)ファイル購入経費、ゼミ合宿宿泊費補助、その他	
	課外活動学外指導者指導助成金	11,250,000	7,573,000	△ 3,677,000	学外指導者への指導助成経費	
	学生奨励費	6,480,000	5,450,000	△ 1,030,000	学生団体及び個人への祝賀金・支援金	
	家計急変学生一時給付金	4,800,000	3,300,000	△ 1,500,000	家計急変学生一時給付金	
	奨学給付金	26,000,000	26,000,000	0	学内奨学金資金	
	スポーツ強化助成金	10,000,000	7,600,000	△ 2,400,000	スポーツ推薦サークルの強化助成	
	文化振興助成金	1,000,000	0	△ 1,000,000	文化・芸術・音楽系サークルの強化助成	
	就職・キャリア支援助成金	5,760,000	5,759,633	△ 367	就職ガイドブック、就活集中セミナー	
	食育支援事業助成金	21,700,000	21,360,476	△ 339,524	100円朝食助成、玉川キャンパス食育助成、学生への食料品 支援プロジェクト、ウォーターサーバー	
	教育施設等充実助成金	3,709,000	3,220,556	△ 488,444	駒膳モバイルオーダー利用費助成	
	大規模自然災害被災者見舞金	1,800,000	0	△ 1,800,000	大規模自然災害の被災者見舞金	
	計	100,499,000	88,128,485	△ 12,370,515		
	繰入金	奨学基金積立金	0	0	0	奨学基金のための積立金
		新規事業積立金	10,000,000	10,000,000	0	新規事業のための積立金
キャンパス整備助成積立金		30,000,000	30,000,000	0	キャンパス整備助成のための積立金	
計		40,000,000	40,000,000	0		
予 備 費		63,137,677	0	△ 63,137,677	予算が不足した場合は、予備費を使用する	
合 計		277,185,217	190,664,189	△ 86,521,028		
次年度繰越金		0	84,203,700			

2025(令和7)年度 積立金明細書

2026年3月31日現在

(1) 普通預金(円)

(単位: 円)

銀行名	預金残高
三菱UFJ銀行 世田谷支店(普0561496)	77,470,994
みずほ銀行 駒沢支店(普1022214)	6,736,429

(2) 奨学基金積立金

(単位: 円)

2024年度末累計額	2025年度積立額	積立金取崩額	合 計	銀行名
303,353,070	0	0	303,353,070	みずほ銀行

(3) 新規事業積立金

(単位: 円)

2024年度末累計額	2025年度積立額	積立金取崩額	合 計	銀行名
156,246,413	10,000,000	0	166,246,413	三菱UFJ銀行

(4) キャンパス整備助成積立金

(単位: 円)

2024年度末累計額	2025年度積立額	積立金取崩額	合 計	銀行名
225,000,000	30,000,000	0	255,000,000	三菱UFJ銀行
60,000,000	0	0	60,000,000	みずほ銀行

上記の通り報告いたします。

2026年4月15日

駒澤大学教育後援会 会長 井垣 達也

2026(令和8)年度 教育後援会予算書

自2026(令和8)年4月1日～至2027(令和9)年3月31日

収入の部

(単位: 円)

項 目	2026 予算額 (A)	2025 予算額 (B)	2025 決算額	差異 (A - B)	摘 要
前年度繰越金	84,203,700	107,230,217	107,230,217	△23,026,517	
入会金	18,460,000	18,595,000	18,460,000	△135,000	@5,000円×3,719名(入学者数) ※但し、入学辞退者等対象外となる人数も含む
会費	145,610,000	148,660,000	145,610,000	△3,050,000	@5,000円×29,732件(年会費10,000円) ※但し、入学辞退や9月等対象外となる学生も含む
会合参加費	2,300,000	2,300,000	2,457,000	0	夏季委員研修会・委員研修会の参加費
積立金取崩収入	0	0	0	0	積立金の取崩収入
雑収入	800,000	800,000	1,110,672	0	銀行利息(普通預金・定期預金)・その他
合 計	251,373,700	277,585,217	274,867,889	△26,211,517	

支出の部

(単位: 円)

	項 目	2026 予算額 (A')	2025 予算額 (B')	2025 決算額	差異 (B'－A')	摘 要
運営費	会議費	1,050,000	1,050,000	662,548	0	総会・役員会等諸経費
	消耗品費	150,000	150,000	64,179	0	事務用品・消耗品
	印刷製本費	600,000	600,000	197,072	0	定期総会資料等印刷費
	通信費	660,000	660,000	486,741	0	各種会議等案内状送料・切手等諸経費
	旅費交通費	3,410,000	2,400,000	1,056,928	1,010,000	各県支部長などの総会等出張費・委員の委員会等交通費
	運営渉外費	252,500	252,500	252,000	0	卒業委員に対しての卒業アルバム等購入費
	ホームページ経費	6,100,000	5,900,000	5,917,722	200,000	ホームページ更新・管理料等諸経費
	運営雑費	2,737,000	2,250,000	1,285,245	487,000	各種グッズ・各種手数料・諸経費
	計	14,959,500	13,262,500	9,922,435	1,697,000	
一般事業費	研修費	13,392,500	13,200,000	13,390,404	192,500	会員研修会・新年賀詞交歓会等諸経費
	教育懇談会費	12,285,500	9,629,000	9,211,131	2,656,500	教育懇談会印刷費、荷物等発送費、役員出張費、 昼食費、現地経費、オンライン対応など諸経費
	各部活動費	3,400,000	3,400,000	2,264,973	0	各部(執行・総務・厚生・文化)活動諸経費
	支部活動費	5,250,000	3,650,000	1,789,396	1,600,000	支部事務費及び運営補助費
	会報等発行費	19,700,000	22,897,040	20,409,790	△3,197,040	会報及び卓上カレンダー作成等経費
	弔慰金	1,260,000	1,260,000	360,000	0	会員・学生・教職員弔慰金
	事業渉外費	6,110,000	6,250,000	5,187,575	△140,000	サークル応援・各種学校関連行事への参加費等経費
	事業雑費	0	0	0	0	掲示物筆耕料・学生アルバイト料
	計	61,398,000	60,286,040	52,613,269	1,111,960	
特別事業費	学生指導費	8,497,920	8,000,000	7,864,820	497,920	卒業証書(学位記)ファイル購入経費、ゼミ合宿宿泊 費補助、その他
	課外活動学外指導者指 導助成金	11,850,000	11,250,000	7,573,000	600,000	学外指導者への指導助成経費
	学生奨励費	6,480,000	6,480,000	5,450,000	0	学生団体(サークル含む)及び個人への祝賀金・支援金
	家計急変学生一時給付金	4,800,000	4,800,000	3,300,000	0	家計急変学生一時給付金
	奨学給付金	26,000,000	26,000,000	26,000,000	0	学内奨学金資金
	スポーツ強化助成金	10,000,000	10,000,000	7,600,000	0	スポーツ推薦サークルの強化助成
	文化振興助成金	1,000,000	1,000,000	0	0	文化・芸術・音楽系サークルの強化助成
	就職・キャリア支援助成金	5,960,000	5,760,000	5,759,633	200,000	就職ガイドブック、就活集中セミナー
	食育支援事業助成金	25,926,248	21,700,000	21,360,476	4,226,248	100円朝食助成、玉川キャンパス食育助成、学生へ の食料品支援プロジェクト・ウォーターサーバー
	教育施設等充実助成金	4,238,378	3,709,000	3,220,556	529,378	共用スペースの拡充(学生の居場所確保)
	大規模自然災害被災者 見舞金	1,800,000	1,800,000	0	0	大規模自然災害の被災者見舞金
	計	106,552,546	100,499,000	88,128,485	6,053,546	
	繰入金	奨学基金積立金		0		0
新規事業積立金		10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	新規事業のための積立金
キャンパス整備助成積立金		30,000,000	30,000,000	30,000,000	0	キャンパス整備助成のための積立金
70周年記念事業積立金		8,000,000				70周年記念事業積立金
	計	48,000,000	40,000,000	40,000,000	8,000,000	
	予 備 費	20,463,654	63,137,677	0	△42,674,023	予算が不足した場合は、予備費を使用する
	合 計	251,373,700	277,185,217	190,664,189	△25,811,517	

2026(令和8)年度 教育後援会特別会計予算書

(単位: 円)

(1) 奨学基金積立金特別会計

2025 年度末累計額	2026 年度積立額	積立金取崩額	繰越額
303,353,070	0	0	303,353,070

(2) 新規事業積立金

2025 年度末累計額	2026 年度積立額	積立金取崩額	繰越額
166,246,413	10,000,000	0	176,246,413

(3) キャンパス整備助成積立金

2025 年度末累計額	2026 年度積立額	積立金取崩額	繰越額
315,000,000	30,000,000	0	345,000,000

(4) 70周年記念事業積立金

	2026 年度積立額	積立金取崩額	繰越額
新規	8,000,000	0	8,000,000

駒澤大学 教育後援会 会則

第1章 総則

(名称及び所在地)

第1条 本会は、駒澤大学教育後援会と称し、本部を東京都世田谷区駒沢1丁目23番地1号(駒澤大学内)に置く。

(目的)

第2条 本会は、駒澤大学(以下「大学」という。)と家庭との緊密なる連絡を図り、その教育的効果の向上に資するとともに、併せて会員相互の親睦と福祉に寄与することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、第2条に定める目的を達成するため、次の事業を行う。

(1)懇談会、研修会、講演会等の開催に関する事業

(2)会報及びその他刊行物の発行及び配布に関する事業

(3)大学施設整備及び教育用設備機器の拡充援助に関する事業

(4)奨学金及び家計急変学生一時給付金給付に関する事業

(5)教育相談及び就職情報等に関する事業

(6)スポーツ強化助成及び文化振興助成に関する事業

(7)福利厚生に関する事業

(8)その他、大学、会員、学生との連絡調整に関し、必要な事業

(組織)

第4条 本会は、大学に在学する全学生の父母又は保証人を会員として組織する。

第2章 役員及び委員

(役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

(1)会長 1人

(2)副会長 4～5人以内

(3)各部部长 1人

(4)各部副部长 2人

(5)監査 若干人

(6)学内幹事 若干人

(役員の選出)

第6条 役員の選出は、次のとおりとする。

(1)会長・副会長及び監査は、会員の中から役員会並びに委員総会において推挙し、総会の議を経て決定する。会長は、副会長及び監査にその職を委嘱する。

(2)各部部长及び副部长は、会員の中から役員会において推挙し、委員総会の議を経て決定する。会長は、各部部长及び副部长にその職を委嘱する。

(3)学内幹事は、大学と協議の上、会長が委嘱する。

(役員の任務)

第7条 役員の任務は、次のとおりとする。

(1)会長は、本会を代表して会務を総理し、会議の議長となる。

(2)副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。

(3)各部部长は、各部の業務を総括し、その部会の議長となる。

(4)副部长は、部長を補佐し、部長事故あるときはこれに代わる。

(5)監査は、会務及び会計を監査し、必要あるときは委員総会の招集を要求することができる。

(6)学内幹事は、本会の事務執行に協力するものとする。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 前項にかかわらず、次期役員が決定するまでは、その業務を執行するものとする。

(委員)

第9条 本会に委員若干人を置く。

2 委員は、会員の中から役員会が推薦し、委員総会の議を経て会長が委嘱する。

(各部委員会)

第10条 各部委員会は、必要に応じ部長がこれを招集し、業務分掌に伴う事業を執行する。

(委員の任期)

第11条 委員の任期は、その子女の最短修業年限とする。

(顧問)

第12条 本会に、名誉顧問、特別顧問及び顧問を置くことができる。

2 名誉顧問は、学長、各副学長及び各局長を推薦し、重要な事項について会長の諮問に応ずる。

3 特別顧問は、顧問経験者の中から若干名を、役員会の推薦により会長が委嘱し、重要な事項について会長の諮問に応ずる。本学内の別組織役員を兼任してはならない。特別顧問の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

4 顧問は、役員会の推薦により会長が委嘱し、重要な事項について会長の諮問に応ずる。ただし、任期は1年とする。

第3章 機関

(機関)

第13条 本会に、次の機関を置く。

(1)総会

(2)委員総会

(3)役員会

(4)執行部会

(総会)

第14条 総会は、本会の最高決議機関であり、会長が年1回これを招集する。ただし、必要に応じ臨時総会を招集することができる。

(議決)

第15条 総会の議事決定は、出席会員の過半数の同意をもってこれを決する。

(委員総会)

第16条 委員総会は、役員及び委員をもって構成し、必要に応じて会長がこれを招集する。ただし会長は、推挙された新役員候補者のオブザーバー参加を認めることができる。

2 委員総会は、総会に次ぐ議決機関であり、本会事業の予算、決算その他必要な事項を審議するとともに、緊急により事業遂行に支障をきたすおそれのあるときは、これを議決することができる。

3 前項による場合、会長はその経過を総会において報告し、追認を受けなければならない。

(役員会)

第17条 役員会は、役員をもって構成するものとする。

2 ただし会長は、推挙された新役員候補者、各県支部支部長・副支部長のオブザーバー参加を認めることができる。

なお、各県支部支部長・副支部長はオンライン参加を原則とする。

3 会長は必要に応じこれを招集し、全ての会務の企画・立案し業務を執行する。

(執行部会)

第18条 会長・顧問・副会長をもって執行部会を構成するものとする。

2 ただし会長は、推挙された会長・顧問・副会長候補者及び特別顧問のオブザーバー参加を認めることができる。

3 会長は必要に応じて、これを招集することができる。

第4章 事業の運営

(業務の分担)

第19条 本会は、業務を分担するため、分掌機関として次の部を置く。

(1) 総務部

(2) 厚生部

(3) 文化部

(事務局)

第20条 本会の事務局は、駒澤大学学生支援センター厚生課とし、諸般の事務を掌る。

第5章 会費及び会計

(会計年度)

第21条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(経費)

第22条 本会の経費は、入会金及び会費その他の収入をもって支弁する。

(会費及び入会金)

第23条 本会の会員は、入会金及び会費を負担する。

(1) 入会金は、5,000円とし、入学時に納入する。

なお、入学者が過去に大学(大学院含む)または駒澤短期大学に在籍し入会金を納めた者並びに国費外国人留学生及び交換留学生から徴収はしない。

(2) 会費は、年額10,000円とし、毎年4月に納入するものとする。

ただし、半期分を毎年4月及び9月に分割納入することができる。

なお、国費外国人留学生及び交換留学生から徴収はしない。

2 入会金及び会費は本会に代わって大学が学納金とともに代理徴収する。

(予算及び決算等)

第24条 会長は、総会に当事業年度の予算及び事業計画を提出してその議決を求め、かつ、前事業年度の決算及び事業報告について承認を求めなければならない。

2 会長は、予算が成立するまでの間、通常の業務を遂行するに必要な経費の金額に限り支出することができる。

(特別会計)

第25条 会長は、総会の承認を得て、特別の支出を目的とする特別会計を設けることができる。

2 会長は、特別会計の決算又は、事業年度末の現況について定期総会の承認を求めなければならない。

(監査報告)

第26条 監査は、各事業年度における業務の執行及び会計を監査した結果について、翌事業年度

の定期総会において報告しなければならない。

第6章 支部の設置

(支部)

第27条 本会に支部を置くことができる。

2 支部の設立及び運営等については、細則をもって別にこれを定める。

第7章 補則

(会則の改廃)

第28条 この会則の改廃については、総会の議を経なければならない。

(雑則)

第29条 この会則に定めのないものは、すべて委員総会に諮り、決定するものとする。

附則

○この会則は、平成12年5月21日から施行する。

○この会則は、令和5年5月13日から施行する。

誌面スペースの都合上、附則項目は途中を省略しています。

詳細は教育後援会事務局までお問い合わせください。

駒澤大学教育後援会のホームページは随時更新され、スマートフォンやタブレット端末などでも閲覧しやすくなっています。



駒澤大学教育後援会のホームページは、モバイルデバイス(スマートフォン、タブレット端末等)などでも閲覧しやすいよう最適化しています。また、通信の暗号化によって、WEBサイトの安全性を強化しています。

<https://www.komazawa-k.org>



卒業アルバムのご案内

卒業アルバムに寄せられた写真や言葉は、何十年もの時間を経ても色褪せず、その時の記憶を鮮明に残します。見返せば、当時の思い出を蘇らせてくれるアルバムは、長年の時間の経過とともに、その価値がますます上がっていくでしょう。

卒業アルバムには卒業年次生の個人写真や、ゼミ・サークル・友人との写真、入学式・学園祭・卒業式などの行事、キャンパス風景がフルカラーで掲載されています。卒業年次生の個人写真の撮影会は年数回、大学構内で実施しています。ご都合が合わない場合は、個人写真のデータ投稿も受け付けています。また、サークル・ゼミ・友人・有志などで撮影した集合写真のデータ投稿もお待ちしております。アルバムに掲載された一枚一枚の写真には、一人

ひとりの大学時代の思い出が込められています。卒業してから10年、20年と時間がたち、ふと手に取って見返したときに、卒業生にもご家族にも楽しんでいただけるアルバムです。皆さまのお申し込みをお待ちしています。

1 卒業アルバム代金
予定価格 一冊 9500円(送料・税込)

2 申込方法
保証人様宛に「お知らせ・振込用紙」を発送する予定です。

①「Web申込(クレジット決済・コンビニ決済)」をご利用の方は、「お知らせ」に記載された

令和8年度 後期学費等納入のお知らせ

本年度学費等を分割納入された方は、後期分を期限内に納入してください。

納入期限

後期学費等納入期限 9月24日(木)

1 学費等は期限までに大学所定の学費等振込依頼書をご利用のうえ、金融機関より納入してください。納入は現金に限ります。ただし、ゆうちょ銀行からの振込みは、事前にゆうちょ銀行窓口で振込方法等を確認してください。

※10万円を超える現金の振込みの場合、金融機関窓口で公的な本人確認書類の提示を求められることがあります。詳しくは、各金融機関のホームページや窓口などでご確認ください。

※いったん納入された学費等はお返ししません。

2 A T M・インターネットバンキングにて納入する場合、**依頼人名として大学所定の振込依頼書に記載されている「振込依頼人コード(10桁)」及び「学生氏名」を必ず入力し、振込金額を間違わないよう納入してください。**

なお、納入時に不備がある場合、学生の特定及び入金確認ができないため、納入控え等の提出をお願いする場合があります。

※金融機関利用限度額を理由とする分割納入はお取り扱いできません。事前に金融機関へご確認のうえ、必要に応じて利用限度額変更の手続きを行ってください。

3 後期学費等振込依頼書は、8月下旬ごろ、保証人住所へ送付予定です。大学所定の振込依頼書を紛失した場合、財務部までご連絡ください。

4 納入期限までに納入できない特別な事情がある場合、納入期限を延期することができます。大学ホームページをご確認いただくか、財務部までご連絡のうえ、所定の「学費等延納願」を9月24日(木)までに提出してください。学生及び保証人の署名・捺印が必要となります。

5 修学支援新制度の授業料等減免対象者の振込依頼書発送時期及び納入期限は異なります。

お問い合わせ先 財務部学費係

TEL 03・3418・9076
FAX 03・3418・9071

お申し込みサイトへアクセスしてください。
②同封の「振込用紙」をご利用の方は、郵便局でお申し込みください。

3 卒業アルバムの送付について
申込時に指定された送付先へ、卒業後の6月末ごろに発送いたします。

お問い合わせ先 学生支援センター学生係

TEL 03・3418・9064

奨学金について

学生支援センター厚生課

駒澤大学 学内奨学金

大学独自の奨学金として、学業奨励型・経済支援型・入学者選抜出願時申請型の3タイプの奨学金を用意しています。いずれも給付型奨学金で、返済不要です。本年度の申請期間は左記をご参照ください。各奨学金の詳細は、大学Webサイトでご確認いただけます。

	名 称	給付金(年額)	採用人数	申請期間
学業推助型	学業成績優秀者奨学金	50万円 30万円 10万円 5千円	各学科の各学年から 上位5人ずつ (265人以内)	申請不要
	同窓会奨学金	15万円	94人以内	5月
	私費留学生応援奨学金	15万円	10人以内	5月
経済支援型	駒澤会奨学金	8万円	37人以内	6月
	百周年記念奨学金	20万円	100人以内	6月・10月
今年度新設	大学院給付奨学金	50万円	大学院生10人以内	6月
	資格取得奨励金 (指定資格を取得した学生)	1万～15万円	該当者全員 (学部生)	5月～2月
	語学支援奨学金 (指定語学試験を受験した学生)	上限1万5千円	該当者全員 (学部生)	5月～2月
	道のおしり奨学金 (社会的養護が必要な学生)	30万円	該当者全員 (学部生)	5月～7月 10月～2月
	リカレント奨学金 (社会人学生)	20万円	該当者全員 (学部生)	6月・10月
	雲のつばさ奨学金 (障がい・難病学生)	20万円	該当者全員 (学部生)	5月～2月

★採用要件と支援の目安

採用支援 区分	世帯収入の目安 (年収)	給付型奨学金(月額)		授業料減免の上限額 (年額)
		自宅通学	自宅外通学	
第Ⅰ区分	～約270万円	38,300円	75,800円	70万円 49万円(フレB)
第Ⅱ区分	～約300万円	25,600円	50,600円	約47万円
第Ⅲ区分	～約380万円	12,800円	25,300円	約23万円
第Ⅳ区分 (多子世帯)	～約600万円	9,600円	19,000円	70万円 49万円(フレB)
多子世帯	収入制限なし	—	—	70万円 49万円(フレB)

- ・世帯収入の目安は、世帯の構成等によって異なりますので、日本学生支援機構Webサイトの「進学資金シミュレーター」をご参照ください。
- ・授業料減免額は、所属学部・学年により異なります。

高等教育の修学支援新制度

国が推進する「高等教育の修学支援新制度」は、「給付型奨学金」と「授業料等減免」の二つの支援から成っています。駒澤大学も対象機関になっており、昨年度約2900人の学生が支援を受けていました。支援対象は世帯収入などの要件を満たしている世帯や多子世帯です。申請には学業要件を満たしている必要があります。

例年、4月と9月に新規募集を行っていますので、KONECOや大学Webサイトをご覧ください。

奨学金受給者の声



経済学部
現代応用経済学科4年
学業成績優秀者奨学金
受給者
桑原 裕大さん

駒澤大学に寄付をしてくださっている皆様、あたにかいご支援をいただき誠にありがとうございます。

私は、経済学部現代応用経済学科に所属し、学業とサークル活動の両立に全力で取り組んでおります。学業面では、社会経済学をテーマとするゼミに所属し、貧困や差別、過疎といった多様な社会問題について日々考察を深めています。ボランティア活動として、ひとり親家庭への食料支援に参加する中で、学びを実社会と結びつけることの意義を実感いたしました。

また、私は体育会ワンダーフォーゲル部に所属し、厳しい環境の中で仲間と協力しながら長期合宿を乗り越える経験が、精神面で大きな成長につながりました。

改めまして、学生生活で多様な経験を積むことができてるのは、皆様からのご支援のおかげです。心より感謝申し上げますとともに、今後も学びを深め、卒業後も自分自身の力を社会に役立てられるよう努力してまいります。



経営学部
経営学科3年
学業成績優秀者奨学金
受給者
川名 昊さん

駒澤大学に寄付をしてくださっている皆様、この度はご支援いただき誠にありがとうございます。

私は経営学部経営学科に所属し、今は簿記などの資格を取得し、将来は会計や経営に関する仕事をしたいと考え、日々邁進しております。勉学に関して努力を積むとともに1年次の終わりで「日商簿記2級」合格といった結果を残すことができたのは、素晴らしい環境に恵まれたからです。この大学に入学して良かったと心から感じております。

これからは受賞させていただいたことを糧に、いつも支援してくださる皆様、熱心に講義してくださる先生方、切磋琢磨しあう友人、毎日支えてくれる家族等すべての方々に感謝の気持ちをもって将来の自らの目標達成のために日々精進します。

給付金については、いつも自分を支えてくれていた方々への感謝を忘れず今後の学習活動に活用させていただきます。

改めましてこの度は支援してくださり、心より感謝申し上げます。



法学部
法律学科3年
百周年記念奨学金
受給者
酒井 麻帆さん

駒澤大学に支援をしてくださっている皆様、この度は寄付をしていただき、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

私は法学部法律学科に所属しており、本年度は自らの学びを深めるために法学検定を受検することを決意致しました。そのため、採用していただいた駒澤大学百周年記念奨学金は、検定の受検料や問題集を購入するために使用させていただきました。無事、法学検定に合格することができ、学びを深められたとともに、今後の学びのための活力になりました。

日々学びに励むことができる環境に身を置いているのは皆様のご支援あってのものだと考えております。今後も皆様のご支援に応えられるよう、一層の努力をして参ります。

改めまして、この度はご支援していただき誠にありがとうございました。



企画展

曹洞宗の近代 と駒澤大学

2026年4月20日(月)
～11月21日(土)

展示室

0. 江戸時代の学林 ― 駒澤大学の前史 (大学史展示室)

1. 開校から大学昇格まで 駒澤大学略史
2. 曹洞宗大学校歌を作った おおうちせいらん 大内青巖
3. 駒澤大学初代学長 ぬかりやかいてん 忽滑谷快天
4. 駒澤大学坐禅の祖 さわき こうどう 澤木興道



駒澤大学禅文化歴史博物館

開館時間	10:00～16:30 (入館は16:15まで)
休館日	土(第3土除く)・日・祝 その他大学の定める休業日
入館料	無料
問い合わせ	〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 TEL (03) 3418-9610
後援	世田谷区教育委員会

詳細はこちら→



イベント予告

秋季特別公開
道元禅師真筆
しょうぼうげんぞうししよ
『正法眼蔵嗣書』

会期
10月31日(土)～11月13日(金)
※休館日 11月5日(木)・7日(土)・8日(日)

曹洞宗の祖・道元禅師の自筆本
『正法眼蔵』を特別公開します。



こんにちは。株式会社KUサポートです。
株式会社KUサポートは、学校法人駒澤大学の100%出資により設立された事業会社です。大学と連携して事業活動を展開し快適な学生生活を送っていただくことに努めております。



サービスのご案内

★英語講座後期募集 (国際センター課外講座として受託運営しています。)

毎日学べる英会話

- ・毎日40分レッスン、後期50回、受講料：65,000円
- ・7月中旬～下旬募集、9月下旬講座開始

★その他・学生生活に役立つ講座のご案内

WEB資格講座 ―仕事に役立つ27資格・講座が受け放題―

TOEIC®・簿記・宅建士・MOS・FP等1年間受け放題！
受講料：11,000円(税込) ※テキスト代別

★就職活動用証明写真学内撮影会

10月中旬、11月下旬～12月上旬、1月下旬～2月上旬開催予定

★レンタル卒業袴予約展示会

卒業式の当日は、学内で着付・写真撮影を行います。毎月実施予定(記念講堂ほか)

★専用寮・優先寮・学生会館・学生マンション、一般流通物件の斡旋

在学生の借り換えもできます(仲介手数料割引あり)。

★学生総合補償制度(駒澤大学生専用保険)

大学内、プライベートを問わずケガ等24時間補償。日常生活での賠償事故など幅広く補償します。

★自転車利用者向け保険

大学の所在地である世田谷区では自転車保険の加入が義務化されています。
自転車による賠償事故などに備える自転車利用者向け保険です。スマートフォンからいつでも簡単にお手続きが可能です。

★ノートパソコン、モバイル Wi-Fi

ノートパソコンは年間を通して大学推奨モデルを特別価格で販売しています(学部1年生は購入補助制度もあります。詳しくは大学HP「BYOD推進における新入生コンピュータ購入支援制度」をご確認ください)。
モバイル Wi-Fiは6月中旬まで販売しています。

★スーツ割引

AOKI、コナカ、はるやまとの提携割引があります。

学校法人駒澤大学事業会社

株式会社KUサポート

株式会社KUサポートは、大学と連携して事業活動を展開し大学の教育・研究の充実に寄与し、より良い環境づくりをサポートします。事業活動を通じて広く社会に貢献することを目的とし、学校法人駒澤大学の100%出資により2007年7月に営業を開始しました。

TEL 03-3418-9743

URL <https://ku-support.com/>



電子パンフレットはこちらから➡



一泊参禅 研修会

参加募集

一泊参禅研修会（会員研修会）は、大本山「永平寺」と「總持寺」において、毎年（それぞれ隔年で）開催しております。
本年度は、大本山「總持寺」（神奈川県）において、下記の日程により開催いたしますので、多数のご参加をお待ちしております。

集合場所： 大本山總持寺総受付
受付時間： 10月3日（土）午後1時30分～午後2時30分
解散時間： 10月4日（日）午前9時予定
参加費： 10,000円（予定）
募集人員（予定）： 100人（抽選。現役在学生の保護者のみ対象）

申込方法

申込期日 令和8年8月19日（水）

※ご参加の可否につきましては、お申し込みされた方を対象に、9月中旬にメールにてお知らせいたします。また同時に、スケジュールの詳細や参加費のお支払い方法などのご案内もいたします。

Web申込 <https://www.komazawa-k.org>

「駒澤大学教育後援会」ホームページトップ画面より「御父母、保証人様も参加できるイベント」内の一泊参禅研修会申込フォームからお申し込みください。

令和8年
10月3日（土）午後3時～4日（日）午前9時

場所

大本山總持寺

神奈川県横浜市鶴見区鶴見 2-1-1
TEL：045-581-6021

- ◆ JR 京浜東北線「鶴見駅」西口より徒歩（約5分）
- ◆ 京浜急行線「京急鶴見駅」より徒歩（約7分）
- ◆ 京浜急行線「花月總持寺駅」より徒歩（約7分）



申込フォームへのアクセスは
2次元バーコードが便利です。

旅行代理店との企画による

大本山永平寺 一泊参禅研修会

駒澤大学教育後援会では、毎年1回「一泊参禅研修会」を開催しておりますが、例年多くのお申し込みをいただき、定員を超える状況が続いております。このたび、より多くの保護者の皆様に参禅研修へご参加いただく機会を設けるため、教育後援会と旅行代理店との共同企画として、大本山永平寺（福井県）にて、追加の参禅研修を開催することといたしました。
右記の日程により開催いたしますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

令和8年
11月21日（土）午後3時～22日（日）午前9時

場所

大本山永平寺

福井県吉田郡永平寺町志比 5-15
TEL：0776-63-3102

JR「福井駅」から

- ◆ 京福バス「特急永平寺ライナー」（永平寺直行バス）で永平寺門前まで（約30分）
- ◆ えちぜん鉄道勝山永平寺線に乗り換えて、「永平寺口駅」下車。京福バス「永平寺門前行」または「永平寺行」で終点下車。徒歩（約5分）

くわしくは、同封のチラシをご覧ください。

アンケートに
答えて

駒澤大学
関連グッズを
抽選で
5名様
プレゼント!

駒澤大学教育後援会『会報』第195号はいかがだったでしょうか。今後の誌面編集の参考にさせていただくため、下記アンケートにお答えください。回答されたシートは、郵送もしくはFAXで駒澤大学教育後援会事務局までお送りください。皆様の率直なご意見、ご要望をお待ちしています(9月15日必着)。

Q1. おもしろかった記事の番号をお書きください(複数回答可)。

- | | |
|---|----------------------|
| 1 表紙について | 10 特集④ 定期総会報告 |
| 2 《巻頭挨拶》 村松 哲文(駒澤大学 学長)
福島 誠(駒澤大学教育後援会 会長) | 11 大学だより |
| 3 特集① サークル紹介 卓球部／折り紙サークル「折 ^{おり} 施 ^{せん} 」 | |
| 4 特別企画 新入生スケッチブックひとことメッセージ | |
| 5 学生表彰 | |
| 6 特集② 学部・学科紹介 文学部 国文学科 | |
| 7 特別企画 地方で活躍する駒大卒業生の皆さん | |
| 8 特集③ 気になる! 就職活動 | |
| 9 教育後援会だより | |

回 答 欄

Q2. 学部の教育内容や学生生活の状況、紹介してほしい学部・学科、ゼミなど、特集で取り上げてほしいテーマをお書きください。

Q3. 駒澤大学教育後援会『会報』に関するご感想、またお気づきの点がございましたらお書きください。

プレゼントを希望される方は下記にご住所、ご氏名をご記入ください。ご協力まことにありがとうございました。

2次元コードでも回答できます

ご住所	〒
ご氏名	

郵送送り先

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学教育後援会事務局 宛



FAX送り先

FAX 03-3418-8491

ご記入いただいた個人情報はプレゼントの発送にのみ使用させていただきます。
お預かりした個人情報は駒澤大学教育後援会事務局が責任をもって管理します。

お問い合わせ：TEL 03-3418-9060

会報

Newsletter

vol.195

2026

駒澤大学教育後援会
Komazawa University Education Support Association

令和8年7月19日発行

駒澤大学教育後援会

〒154-8525

東京都世田谷区駒沢1-23-1

駒澤大学学生支援センター内

駒澤大学教育後援会事務局

TEL: 03-3418-9060

FAX: 03-3418-8491

Event

オータムフェスティバル2026

10/31日・11/1日 開催!!



駒大を肌で感じる2日間!!

昨年度は、活気ある雰囲気の中、たくさんの来場者でにぎわいました。

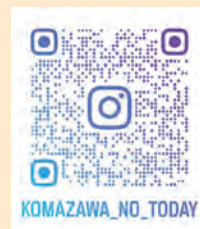
今年度の詳細はオータムフェスティバルのHP等で随時お知らせします。

Instagram

駒澤の今日

学生支援センターの担当者が見つけた学内情報を学生向けに発信しています。駒澤の「今日」にフォーカスして、その日の学内イベントや学食のメニュー、キッチンカーの情報などを毎日更新しています。

その日大学でどんなイベントが行われているのか、ぜひフォローしてのぞいてみてください。



編集後記

昨年度は皆様のおかげで、演劇研究部の取材を実現することができました。ありがとうございます！その後、部の構外公演を拝見する機会にも恵まれ、大学演劇のエネルギーを浴びた私は、自分自身も体当たりで舞台にチャレンジして年度を締め括ることになりましたよ。行動する力に年齢は関係ない、と強く思わされた1年でした。

実は、これを書いているのは3月20日。東京都心部では例年より5日早く桜が開花した、と言っています。誌面に載る頃にはすっかり真夏なんだなあ。新入生の皆さん、大学生活には慣れましたか。きっとこれから先、わずか3ヶ月の間にも、キャンパスではあちこちで充実した学びと成長の姿が見られていることでしょう。今年度はどんなエネルギーを記事にしてお届けできるのか、心の底から楽しみです。(C.T)

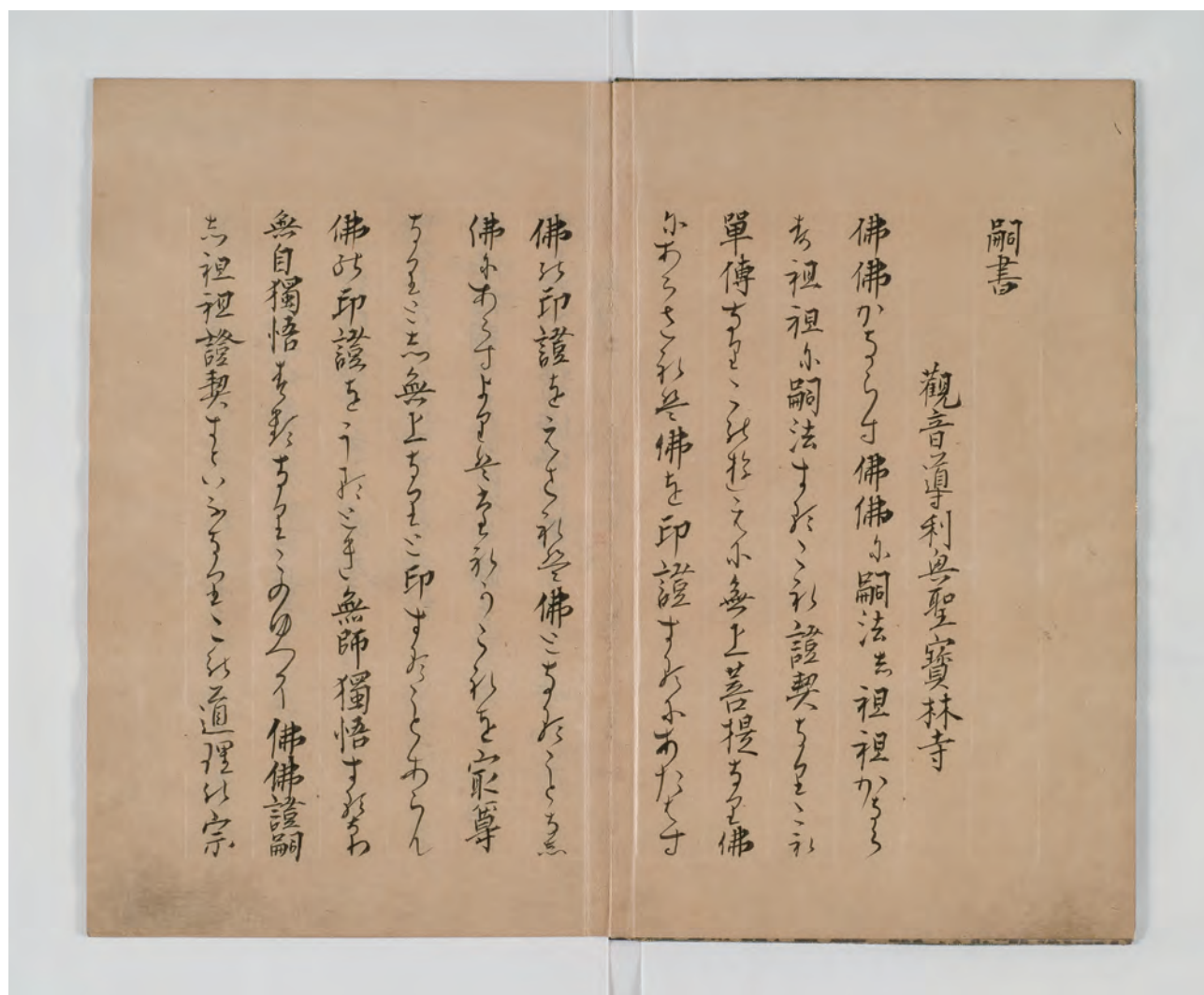
日増しに強まる日差しに、夏の訪れを感じる季節となりました。教育後援会・文化部に所属して2年。今号も無事に皆様へお届けできることを、編集部一同心より嬉しく思います。この2年間、文化系・体育会系問わず多くのサークル取材しました。一步現場へ足を踏み入れば、そこには学生たちの真剣な眼差しと弾ける笑顔が溢れています。彼らの「いま」に触れる時間は、私にとっても驚きと発見に満ちた、純粋に楽しいひとときでした。実は私たち文化部も、学生たちに負けないくらい「大人のサークル活動」として和気あいあいと楽しんでいます。保護者の視点で大学の活気を肌で感じ、それを形にする活動は、日常とは少し違う心地よい刺激をくれます。私たちと一緒に活動してみませんか。皆様の新しい感性が加わり、本誌がより彩り豊かになることを願っています。(K.A)

PICK UP/
禪

道元禪師真筆『正法眼蔵嗣書』（駒澤大学禅文化歴史博物館 所蔵）

「正法眼蔵」は、曹洞宗の高祖・道元禪師（1200-1253）の代表的な著作として知られています。これには、「仏法の真髓をあまねく包蔵せる書」という意味があり、道元思想の集大成として今日まで伝わっています。道元禪師真筆の「正法眼蔵」はわずか数巻のみしか伝存しておらず、本資料はその一つ、「嗣書」と呼ばれる巻で、冒頭から末尾まで一紙も欠けていない完本として極めて貴重な資料です。

（資料紹介動画） <https://www.youtube.com/watch?v=XM-Yt4Vq1cQ> →



ZEN, KOMAZAWA, 1592

駒澤大学教育後援会 会報

2026年7月19日発行 駒澤大学教育後援会 〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1 駒澤大学学生支援センター内
駒澤大学教育後援会事務局 TEL 03-3418-9060 <https://www.komazawa-k.org/>